

令和7(2025)年度
学生募集要項
〔一般選抜〕



弘前大学の一般選抜への出願登録は、
インターネットにより行ってください。

インターネット出願サイト

<https://e-apply.jp/ds/hirosaki-u/>



弘 前 大 学

HIROSAKI UNIVERSITY

〈 目 次 〉

■ 令和7（2025）年度入学者選抜方法等の主な変更点について	1
■ 弘前大学における三つの方針（ポリシー）	5
① 募集人員	7
② 試験日程	8
③ 入学試験の実施方法等	8
1 他大学及び本学学部間の併願	8
2 入学者選抜方法	9
3 医学部医学科の2段階選抜の取扱い	9
4 医学部医学科の「青森県定着枠」と「一般枠」の取扱い	9
5 理工学部の第2志望選抜の取扱い	9
6 農学生命科学部の第2志望選抜の取扱い	10
④ 出願資格	11
⑤ 出願手続	12
1 出願方法等	12
2 入学検定料の返還について	14
3 入学検定料の免除について	14
4 障害等のある入学志願者の事前相談について	15
5 受験票の印刷について	16
6 インターネット出願の流れ	17
⑥ 試験実施教科・科目等	21
1 試験実施教科・科目等に関する留意事項	21
2 各学部の試験実施教科・科目及び配点等	25
⑦ 個別学力検査の評価方法等	30
⑧ 試験時間割	34
⑨ 試験場	36
⑩ 受験上の注意	38
⑪ 入学試験における感染症対応について	40
⑫ 合格者の発表	40
⑬ 入学手続	40
⑭ 追加合格者	42
⑮ 入学試験個人成績の開示	42
⑯ 入学料及び授業料の減免について	42
⑰ 学生寮への入寮について	43
⑱ 個人情報の取扱いについて	44
⑲ 各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	45
■ 問合せ先一覧	63

令和7（2025）年度入学者選抜方法等の主な変更点について

令和6年11月 弘前大学

令和7（2025）年度入学者選抜方法等については、これまで数回にわたり予告版を公表してきたところですが、今回あらためて令和7年度入学者選抜方法等に関し前年度からの主な変更点をまとめました。（配点については各選抜のページをご確認ください。）

記

1. 新教科「情報」の取扱い

【一般選抜】

全学部、共通テストでの従来の受験教科に「情報」を追加します。科目は、「情報Ⅰ」（旧教育課程履修者は、「情報Ⅰ」又は「旧情報」）とします。

また、個別学力検査では「情報」は課しません。

【総合型選抜】

「総合型選抜Ⅰ」

総合型選抜Ⅰでは、共通テストを課していませんが、大学入学までの勉学意欲の継続という趣旨に鑑み、合格者は共通テストを必ず受験することとしています。

これを踏まえ、共通テストでの従来の受験教科に「情報」を追加します。科目は、「情報Ⅰ」（旧教育課程履修者は、「情報Ⅰ」又は「旧情報」）とします。

なお、これまでどおり、共通テストの成績が合否に影響することはありません。

「総合型選抜Ⅱ」

医学部医学科及び医学部保健学科の総合型選抜Ⅱ志願者については、共通テストでの従来の受験教科に「情報」を追加します。科目は、「情報Ⅰ」（旧教育課程履修者は、「情報Ⅰ」又は「旧情報」）とします。

また、教育学部の総合型選抜Ⅱ志願者については、共通テストでの「情報」の受験は必要としません。ただし、本学の一般選抜にも出願する場合は、上記のとおり「情報」の受験が必要です。注意してください。

2. 出願書類の取扱い

【一般選抜】

調査書… 出願要件確認のために提出は求めるが、評価対象としない。

志望理由書… 提出は求めない。 ※医学部医学科，医学部心理支援科学科を除く。

医学部医学科及び心理支援科学科を除く学部学科については、出願書類のうち、「志望理由書」の提出は求めません。また、「調査書」については、出願要件確認のために提出は求めますが、評価対象とはしません。

なお、医学部医学科においては、医師を目指す者としての資質を確認するために面接を行うこととしていますが、その面接で出願書類を参考資料として用いるために、「志望理由書」の提出を求めます。

また、医学部心理支援科学科においては、将来、心理支援職に携わる職業人としての資質を確認する必要があり、特に当該学科での学びや心理支援職に対する理解度を測るため、「志望理由書」の提出を求め、評価の対象とします。

【総合型選抜】

人文社会科学部及び医学部保健学科

調査書… 提出を求め、評価対象とする。

志望理由書又は学習計画書… 提出を求め、評価対象とする。

教育学部

調査書… 提出を求めるが、評価対象としない。

志望理由書… 提出を求め、評価対象とする。 ※中学校コースは提出不要。

医学部医学科，理工学部及び農学生命科学部

調査書… 提出を求めるが、評価対象としない。

志望理由書… 提出を求めるが、評価対象としない。

総合型選抜は、公募制自己推薦的な入試区分であり、一般選抜と比較してより「行動力」や「意欲」を重視した選抜であることから、出願書類として「調査書」及び「志望理由書又は学習計画書」の提出を求め、面接試験の参考資料とします。また、人文社会科学部及び医学部保健学科では、「調査書」及び「志望理由書又は学習計画書」を、教育学部では、「志望理由書」を評価の対象とします。

3. 一般選抜個別学力検査における数学及び外国語（英語）の出題範囲

数 学

「数Ⅰ，数Ⅱ，数A，数B，数C」（「数A」の出題範囲は「図形の性質，場合の数と確率」，「数B」の出題範囲は「数列」，「数C」の出題範囲は「ベクトル」とします。）

「数Ⅰ，数Ⅱ，数Ⅲ，数A，数B，数C」（「数A」の出題範囲は「図形の性質，場合の数と確率」，「数B」の出題範囲は「数列」，「数C」の出題範囲は「ベクトル，平面上の曲線と複素数平面」とします。）

外国語（英語）

令和7年度入学者選抜における出題範囲については、「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ」とします。また、令和8年度入学者選抜からの出題範囲については、「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」とします。

4. その他 各学部・学科の主な変更点

◆人文社会科学部◆

- 総合型選抜Ⅰにおいて、出願要件の「調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.0以上の者」を廃止します。

文化創生課程

- 総合型選抜Ⅰの募集人員35人に国際バカロレア枠3人を含めることとします。地域社会のグローバル化を促進し、より幅広い視野をもった人材の育成を目的として、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者及び取得が見込まれる者を国際バカロレア枠出願者として扱います。なお、総合型選抜Ⅰにおける通常の出願要件を満たし、出願時に希望した者を対象とします。

◆教育学部◆

学校教育教員養成課程初等中等教育専攻小学校コース

- 総合型選抜Ⅱ（募集人員26人）の募集人員を25人とし、一般選抜前期日程（同34人）の募集人員を35人とします。
- 総合型選抜Ⅱで課している「小論文」を廃止します。

学校教育教員養成課程初等中等教育専攻中学校コース技術専修

- 一般選抜前期日程（募集人員3人）を廃止し、代わって総合型選抜Ⅰ（同3人）を新設します。

学校教育教員養成課程初等中等教育専攻中学校コース保健体育専修

- 総合型選抜Ⅰで課している「運動技能テスト」を、「基礎運動能力テスト」に変更します。また、あらたに「運動歴調査書」の提出を求め、実技の得点に含めるとともに、面接の参考資料とします。

学校教育教員養成課程特別支援教育専攻

- 総合型選抜Ⅱ（募集人員5人）を廃止し、代わって総合型選抜Ⅰ（同3人）と一般選抜後期日程（同2人）を新設します。

◆医学部医学科◆

- 一般選抜個別学力検査で課している「総合問題」を、「数学」、「外国語（英語）」に変更します。
- 総合型選抜Ⅱで課している「ワークショップ」を廃止します。

◆医学部保健学科◆

- 総合型選抜Ⅱにおいて、全専攻で出願要件の「調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.5以上の者」を廃止します。加えて、放射線技術科学専攻の出願要件「「数学Ⅰ～Ⅲ」又は「理数数学Ⅰ～Ⅱ」の科目を履修した者」を廃止します。
- 社会人入試について、令和7年度入学者選抜から募集を停止します。

放射線技術科学専攻

- 総合型選抜Ⅱ（募集人員16人）の募集人員を20人とし、一般選抜前期日程（同24人）の募集人員を20人とします。

検査技術科学専攻

- 総合型選抜Ⅱ（募集人員16人）の募集人員を20人とし、一般選抜前期日程（同24人）の募集人員を20人とします。

作業療法学専攻

- 総合型選抜Ⅱ（募集人員8人）の募集人員を10人とし、一般選抜前期日程（同12人）の募集人員を10人とします。

◆理工学部◆

- 総合型選抜Ⅰにおいて、出願書類（調査書及び志望理由書）は評価の対象とはせず、個人面接の際に出願書類を参考資料として用います。

自然エネルギー学科

- 一般選抜前期日程（募集人員9人）の募集人員を10人とし、一般選抜後期日程（同12人）の募集人員を11人とします。

◆農学生命科学部◆

- 総合型選抜Ⅰにおいて、出願書類（調査書及び志望理由書）は評価の対象とはせず、個人面接の際に出願書類を参考資料として用います。
- 社会人入試について、令和7年度入学者選抜から募集を停止します。
- 第3年次編入学入試について、選抜方法から「小論文」を廃止し、合格者の選考は、面接、出願書類（編入学願、成績証明書）を総合して判定することとします。

生物学科

- 総合型選抜Ⅱ（募集人員12人）を廃止し、代わって総合型選抜Ⅰ（同12人）を新設します。

分子生命科学科

- 総合型選抜Ⅱ（募集人員12人）を廃止し、代わって総合型選抜Ⅰ（同12人）を新設します。

食料資源学科

- 一般選抜前期日程（募集人員28人）の募集人員を27人とし、一般選抜後期日程（同8人）の募集人員を7人とし、総合型選抜Ⅰ（同19人）の募集人員を21人とします。

地域環境工学科

- 総合型選抜Ⅰの募集人員9人に、専門高校枠（高等学校等（高等専門学校を含む）の農業、工業に関する学科）3人を含めることとします。

■ 弘前大学における三つの方針（ポリシー）

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

弘前大学は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めています。

- 入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 自立した個人として、または多様な人々と協働して、国際社会や地域社会に参画していこうとする行動力
- 生涯にわたって知的好奇心を持ち続け、知的・人格的に成長していこうとする意欲

上記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。

■解説：入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

弘前大学の入学者受入れの方針の「学力」「行動力」「意欲」といったキーワードには、入学時に学生が身に付けておくべき力と卒業時に学生が身に付けておくべき力の2つが含まれています。その理由は、大学教育を効果的に実践し、学生を主体的で能動的な知的探究者として社会に送り出していくためには、学生が入学前に身に付けて来た学力の芽を大きく育て、花開かせることが重要だと考えているからです。

学生が入学時に身に付けておくべき力とは、「学力の3要素」です。学力の3要素は、初等中等教育において身に付けるべき学力です。その内容は、①基礎的な知識・技能、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、となっています。

また、卒業時に学生が身に付けるべき力とは、弘前大学の「卒業認定・学位授与の方針」や「教育課程編成・実施の方針」で掲げている「見通す力」「解決していく力」「学び続ける力」です。詳細は本学ホームページの該当部分を読んでみてください。

「学力」「行動力」「意欲」には、弘前大学の教育目的が内包されているため、「学力」「行動力」「意欲」は「学力の3要素」と完全一致しているわけではありません。ただし、教育理念の点で、両者は一致しています。よって、弘前大学の入学者選抜では、「学力の3要素」を多面的・総合的に評価します。

実際の入試の内容や方法は、学部や学科、あるいは入試形態によって異なります。詳細は各学部の入学者受入れの方針、入学者選抜要項・募集要項を確認してください。

2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

弘前大学は、学生の主体的・能動的な知的探究をとおして、学生の知性ならびに人間性・社会性を育む教育課程を編成・実施します。

(1) 教養教育：教養教育は学生の探究の第一歩です。

－見通す力

学生に人類の叡智たる諸学問の構造を俯瞰する機会を提供することで、複眼的思考および多元的価値観に立脚した省察を促します。これにより、国際社会や地域社会が抱える複雑な問題の本質を見通す力を養います。

－解決していく力

学生に国際社会や地域社会の実情や問題の複雑さに触れる機会を提供します。これにより、学生が個人およびチームとして問題の解決に挑戦できるよう導いていきます。

(2) 専門教育：専門教育は、学生の探究の集大成です。

－見通す力

学生に専門知識を体系的に教授することで、自然や社会への洞察を深化させます。

－解決していく力

学生に、専門知識を国際社会や地域社会の問題解決に応用したり、高度な学識を活かして学術的問題の解決に取り組んだりする機会を提供します。これに加えて専門家としての見識と職業倫理も、実践をとおして培います。

(3) 学士課程教育の再構築：学生の探究の過程こそが新しい学士課程の本質です。

－学び続ける力

卒業後、学生が国際社会や地域社会の一員として充実した生活を送るとともに、より良い社会の実現に貢献していくことができるように、学生の探究の習慣を確立します。

3. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

弘前大学は、変化が激しく、将来予測が困難な時代にあってこそ力を発揮できる主体的・能動的な探究者を育み、高い倫理観をもって知的探究に取り組むための三つの力を身に付けた者に対して学位を授与します。

- － 学際的な教養と高度な専門性を身に付け、学術的観点から自然や社会を見通す力
- － 学術的な知識を具体的な実践へ移し、国際社会や地域社会の問題を解決していく力
- － 常に新しい問題に挑戦し続け、生涯にわたって自らを成長させていく学び続ける力

*カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーの解説は、ホームページでご覧いただけます。

<https://gkm.hirosaki-u.ac.jp/kyoikuinfo/policy.html>

1 募集人員

学部	学科・課程等	入学定員	募集人員								
			一般選抜		総合型選抜(※1)		私費 外国人 留学生 入試				
			前期日程	後期日程	I	II					
人文社会 科学部	文化創生課程	110	60	15	(※3) 35	若干名					
	社会経営課程	155	(※2) 国語 55 数 35	20	(※4) 45		若干名				
	計	265	150	35	80						
教育学部	学校 教育 教員 養成 課程	初等 中 学 校 教 育 専 攻 課 程	小学校コース	80	35	20	25	若干名			
			中 学 校 コ ー ス	国語専修	7	50		20	3	若干名	
				社会専修	7					若干名	
				数学専修	7					若干名	
				理科専修	7					若干名	
				音楽専修	3					若干名	
				美術専修						3	若干名
				保健体育専修						5	若干名
				技術専修	3					若干名	
				家庭科専修	3					若干名	
	英語専修	5	若干名								
特別支援教育専攻	10	5	2	3	若干名						
養護教諭養成課程	20	14			6	若干名					
計	160	90	22	17	31						
医学部	医 学 科	112	青森県定着枠	20	27	青森県内枠	27	若干名			
			一般枠	50					北海道・東北枠	15	
	保 健 学 科	看護学専攻	80	50		30	若干名				
		放射線技術科学専攻	40	20		20	若干名				
		検査技術科学専攻	40	20		20	若干名				
		理学療法学専攻	20	12		8	若干名				
		作業療法学専攻	20	10		10	若干名				
		小計	200	112		88					
心理支援科学科	10	10			若干名						
計	322	192			130						
理工学部	数物科学科	78	(※5) 数 19 数理 19	(※5) 数 6 理 10	24	若干名					
	物質創成化学科	52	26	10	16		若干名				
	地球環境防災学科	65	30	15	20		若干名				
	電子情報工学科	55	29	9	(※6) 17		若干名				
	機械科学科	80	36	20	(※7) 24		若干名				
	自然エネルギー学科	30	10	11	9		若干名				
計	360	169	81	110							
農学生命 科学部	生物学科	40	23	5	12	若干名					
	分子生命科学科	40	20	8	12	若干名					
	食料資源学科	55	27	7	21	若干名					
	国際園芸農学科	50	27	8	(※8) 15	若干名					
	地域環境工学科	30	16	5	(※9) 9	若干名					
計	215	113	33	69							
合 計	1,322	714	171	276	161						

- (※1) 「総合型選抜Ⅰ」は大学入学共通テストを課さないものであり、「総合型選抜Ⅱ」は大学入学共通テストを課すものです。
(※2) 人文社会科学部「一般選抜(前期日程)」の「国」は個別学力検査における国語選択者、「数」は数学選択者の募集人員です。
(※3) 人文社会科学部文化創生課程「総合型選抜Ⅰ」の募集人員35人には、国際バカロレア枠3人を含みます。
(※4) 人文社会科学部社会経営課程「総合型選抜Ⅰ」の募集人員45人には、専門高校枠(高等学校等の商業又は情報に関する学科、総合学科(商業又は情報の単位を20単位以上修得した者))8人を含みます。
(※5) 理工学部「一般選抜」の「数」は個別学力検査における数学選択者、「数理」は数学及び理科選択者、「理」は理科選択者の募集人員です。
(※6) 理工学部電子情報工学科「総合型選抜Ⅰ」の募集人員17人には、専門高校枠(高等学校等(高等専門学校を含む)の工業、商業に関する学科、又は高等学校の総合学科)4人を含みます。
(※7) 理工学部機械科学科「総合型選抜Ⅰ」の募集人員24人には、専門高校枠(高等学校等(高等専門学校を含む)の工業に関する学科)2人を含みます。
(※8) 農学生命科学部国際園芸農学科「総合型選抜Ⅰ」の募集人員15人には、専門高校枠(高等学校等(高等専門学校を含む)の農業、林業、水産、工業、商業、情報に関する学科)4人を含みます。
(※9) 農学生命科学部地域環境工学科「総合型選抜Ⅰ」の募集人員9人には、専門高校枠(高等学校等(高等専門学校を含む)の農業、工業に関する学科)3人を含みます。

(注) 総合型選抜の合格者が募集人員に満たない場合の欠員は、「一般選抜(前期日程)」の募集人員に加えます。

2 試験日程

「前期日程」及び「後期日程」は、以下の日程で実施します。

インターネット出願登録 及び入学検定料払込期間	出願書類受付期間
令和7年1月23日（木） ～2月5日（水）	令和7年1月27日（月） ～2月5日（水）

前期 日程	試験実施日	令和7年2月25日（火）	人文社会科学部, 医学部保健学科, 医学部心理支援科学科, 理工学部, 農学生命科学部
		令和7年2月25日（火） 令和7年2月26日（水） （2日間にわたり実施します）	教育学部, 医学部医学科
	合格者発表	令和7年3月6日（木）（予定）	→詳細はp.40
	入学手続期限	令和7年3月15日（土）まで	→詳細はp.40

後期 日程	試験実施日	令和7年3月12日（水）	人文社会科学部, 教育学部, 理工学部, 農学生命科学部
	合格者発表	令和7年3月20日（木）（予定）	→詳細はp.40
	入学手続期限	令和7年3月27日（木）まで	→詳細はp.40

追加合格者の決定	令和7年3月28日（金）～ 令和7年3月31日（月）	→詳細はp.42
----------	-------------------------------	----------

3 入学試験の実施方法等

本学の一般選抜は、学科又は課程の入学定員を分割し、「前期日程」及び「後期日程」による「分離分割方式」により行います。

ただし、教育学部（小学校コース及び特別支援教育専攻を除く。）及び医学部では、「後期日程」での募集はしません。（7ページ「[1](#) 募集人員」参照）

1 他大学及び本学学部間の併願

志願者は、分離分割方式で入学試験を行う国公立大学のうち、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの大学・学部に出願することができます。したがって、「前期－後期」の併願は認められますが、「前期－前期」、「後期－後期」の併願は認められません。

また、本学学部間においても、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの学部又は同一学部の学科・課程等に併願することができます。

なお、併願を希望する場合は、それぞれに入学検定料を納め、出願書類を提出しなければなりません。

2 入学者選抜方法

入学者の選抜は、令和7年度大学入学共通テストの成績と、本学が実施する個別学力検査等（個別学力検査、小論文、面接試験）及び出願書類の内容を総合評価して行います。選抜内容は、学部学科等により異なります。志望する学科等が課す全ての個別学力検査等（25～29ページ参照）を受験しなければ、合格者とはなりません。

3 医学部医学科の2段階選抜の取扱い

(1) 2段階選抜は、医学部医学科前期日程の志願倍率が8倍を超えた場合に、大学入学共通テストの教科・科目（27ページ参照）の成績の合計点（1,050点満点）により行い、その合格者に個別学力検査等を行います。ただし、上記倍率を超えた場合でも個別学力検査等を適切に実施できると判断した場合は、第1段階選抜の倍率を緩和することがあります。

(2) 第1段階選抜を実施する場合は、志願者全員に「第1段階選抜結果通知書」を送付するとともに、不合格者には「入学検定料返還手続書類」を速達郵便で送付します。

なお、第1段階選抜の結果通知は令和7年2月7日（金）以降に郵送しますが、2月12日（水）を過ぎても届かない場合は、入試課へお問合せください。

(3) 第1段階選抜の実施の有無については、以下のとおり特設サイトにて発表しますので、必ず確認してください。

発表日時：令和7年2月7日（金）午後2時（予定）

●特設サイト <https://sp-nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>

4 医学部医学科の「青森県定着枠」と「一般枠」の取扱い

(1) 「青森県定着枠」受験者のうち合計点の点数順に上位20人を「青森県定着枠」合格者とします。

(2) 上記(1)の結果、「青森県定着枠」において不合格となった者を「一般枠」に組み入れます。すなわち、「一般枠」と「青森県定着枠（のうち不合格者）」を合わせて、上位50人を「一般枠」の合格者とします。

(3) 上記において、面接の得点が低いと不合格になる場合があります。

5 理工学部の第2志望選抜の取扱い

理工学部では、複数の学科に進学意欲を持つ志願者に広く進学機会を与えるため、第2志望学科に基づく入学者選抜を行います。

(1) 第2志望選抜は、前期日程において実施します。

(2) 第2志望選抜は、全学科間で実施します。ただし、大学入学共通テストの利用教科・科目及び配点並びに個別学力検査の教科が統一されている募集単位間で実施するため、数物科学科（数学選択）に出願する場合のみ、第2志望選抜を希望することができません。

(3) 数物科学科（数学選択）以外の志願者で、複数の学科に進学意欲を持っており、第2志望選抜を希望する場合は、インターネット出願サイトから出願内容を登録する際に第2志望学科を選択する必要があります。選択しない場合は、第2志望選抜出願者として扱いません。

(4) 入学者の選抜は、各学科が定める募集人員の9割を第1志望の志願者から成績順に選考し、残りの1割は第1志望・第2志望の志願者を区別せずに総得点順に選考します。

(5) 第2志望学科の総得点は、第2志望学科の配点により計算します。

6 農学生命科学部の第2志望選抜の取扱い

農学生命科学部では、複数の学科に進学意欲を持つ志願者に広く進学機会を与えるため、第2志望学科に基づく入学者選抜を行います。

- (1) 第2志望選抜は、前期日程において実施します。
- (2) 第2志望選抜は、生物学科、分子生命科学科、食料資源学科、国際園芸農学科の4学科間で実施します。大学入学共通テストの利用教科・科目及び配点並びに個別学力検査の教科及び配点が統一されている募集単位間で実施するため、地域環境工学科に出願する場合のみ、第2志望選抜を希望することができません。
- (3) 地域環境工学科以外の志願者で、複数の学科に進学意欲を持っており、第2志望選抜を希望する場合は、インターネット出願サイトから出願内容を登録する際に第2志望学科を選択する必要があります。選択しない場合は、第2志望選抜出願者として扱いません。
- (4) 入学者の選抜は、各学科が定める募集人員の9割を第1志望の志願者から成績順に選考し、残りの1割は第1志望・第2志望の志願者を区別せずに総得点順に選考します。

4 出 願 資 格

本学に出願することができる者は、次のいずれかに該当し、かつ、出願する学部・学科等が定める令和7年度大学入学共通テストの利用教科・科目等（21～23ページの表参照）を全て受験する者としてします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和7年3月31日までに合格見込みの者で、令和7年3月31日までに18歳に達する者
- (8) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者
- (9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月31日までに18歳に達する者

なお、出願資格(9)の入学資格審査を申請する者は、令和6年12月6日（金）までに入試課へ問合せのうえ、申請書類を提出してください。

一般選抜（前期日程）医学部医学科の「青森県定着枠」を受験できる者は、上記(1)～(9)のいずれかに該当し、かつ、卒業（医師国家試験合格を前提）後、直ちに青森県のキャリア形成プログラムにしたがって、臨床研修を含む9年間（うち4年間は医師の不足している地域）医療に従事することを遵守できる者です。

一般選抜（前期日程）医学部医学科の「青森県定着枠」の入学者は、在学中に青森県が大学の協力を得て策定する青森県のキャリア形成卒前支援プランに参加していただきます。

なお、医療法に基づき、卒業後は青森県のキャリア形成プログラムが適用されます。

（臨床研修を含む9年間（うち4年間は医師の不足している地域で勤務）医療に従事）

また、キャリア形成プログラム及びキャリア形成卒前支援プランについての詳細は、青森県庁ホームページにて確認願います。

(<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/iryu/kyariakeiseiprogram.html>)

※大学入学共通テスト受験上の注意

- (1) 大学入学共通テストにおいて、本学の指定した教科・科目を受験しない場合（英語についてはリスニングを受験しない場合も含む。ただし、リスニングの受験を免除された者は除く。）は、出願資格がなくなりますので、科目名、科目数には十分注意してください。
- (2) 本学では、過年度の大学入学共通テストの成績は利用しません。

5 出願手続

1 出願方法等

(1) インターネット出願登録及び検定料等払込み期間

令和7年1月23日(木)～2月5日(水) 午後4時30分

※インターネット出願の流れ(登録方法等)は17ページ～に記載しています。

※前期日程, 後期日程, それぞれの日程ごとに出願登録及び検定料の払込みが必要です。

※**インターネット出願登録, 検定料の払込みだけでは出願手続は完了しません**ので, ご注意ください。

※ご自宅にインターネットや印刷の環境がない場合は, 学校に相談してパソコン等を利用したり, 公共図書館のインターネットサービスを利用する等により対応してください。

※インターネット出願の環境設定等について

パソコン等は下記の環境を推奨します。

〈ブラウザ〉

- Microsoft Edge 最新版
- Google Chrome 最新版
- Mozilla Firefox 最新版
- Apple Safari 最新版

〈スマートフォン, タブレットの OS〉

- iOS 12 以上
- Android OS 8 以上
- iPadOS 13 以上

プリンター

写真データ等を印刷する必要がありますので, カラープリンターでの印刷を推奨します。

メールアドレス設定

- パソコンでも使用できるメールアドレスを推奨します。
- 下記のドメインからのメールを受信できるようにしてください。
@e-apply.jp
- 出願時に登録したアドレスには, 登録時のテスト, 入力完了, 検定料払込み完了の際に自動送信メールが送信されます。また, 出願に関するお知らせのメールを送付することがあります。

(2) 出願書類受付期間及び提出先

令和7年1月27日(月)～2月5日(水) 午後5時(郵送必着)

原則として書留・速達郵便による郵送とします。郵送では間に合わないなど, やむを得ない事情がある場合には, 出願期間中の平日午前9時～午後5時までに持参してください。

出願書類受付期間後に到着したものは受理しません。郵便事情等を十分考慮のうえ, 余裕をもって発送してください。ただし, 2月3日(月)以前の発信局の消印がある書留・速達郵便に限り受付します。

なお, 郵便事情により, 期間内に到着しない恐れがある場合は, 事前に入試課へ連絡してください。

【送付先】

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 弘前大学学務部入試課

出願状況(志願者数, 志願倍率)は, 令和7年1月31日以降, 以下のWebサイトから確認できます。

●特設サイト <https://sp-nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>

(3) 出願書類等

出願書類等は、下記のとおりです。事前に、写真データ、令和7共通テスト成績請求票、調査書、志望理由書及び封筒等を準備してください。

出願書類等	内容等
A. 全志願者共通	
1. 志願票等	<p>1-1. 志願票 インターネット出願サイトから必要事項を入力し、検定料払込み完了後にA4サイズで印刷してください。</p> <p>1-2. 写真データ インターネット出願サイトで登録する際に、写真データをアップロードしてください。 写真データは、カラー（10MBまで）、出願前3ヶ月以内に撮影、上半身、脱帽、正面向きのものとします。本人確認に使用するため鮮明なものを使用してください。</p> <p>1-3. 令和7共通テスト成績請求票 「令和7年度大学入学共通テスト受験票」下部の「令和7共通テスト成績請求票」を所定の欄に貼付してください。 成績請求票は、「国公立前期日程用」と「国公立後期日程用」がありますので、貼り間違えないよう注意してください。</p>
2. 調査書等	<ul style="list-style-type: none"> 出身学校（高等学校長等）が作成した「調査書（厳封）」を提出してください。 出身学校の事情（廃校、被災、文書保管期間の超過等の理由）により「調査書」を提出できない場合は、「卒業証明書（厳封）」及び「成績証明書（厳封）」又は単位修得証明書（厳封）」を提出してください。「成績証明書」等も提出できない場合は、その旨を書面（様式任意、自書・捺印）で申し出てください。 国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格又はGCEA資格等により出願する場合は、「資格証書のコピー」及び「成績証明書」等を提出してください。 高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定合格者も同様）は「合格成績証明書」を提出してください。なお、一部の科目を高等学校で修得し免除された者は、在学期間中の「調査書（厳封）」、「成績証明書（厳封）」、「単位修得証明書（厳封）」のいずれかを併せて提出してください。 合格見込み（認定試験で一部の科目に合格し、残りの科目全部について高等学校等で単位を修得する見込み）の場合は、文部科学省に申請のうえ、発行された「合格見込成績証明書（厳封）」を提出してください。 高等学校卒業程度認定審査合格者は「合格証明書」を提出してください。 <p>(注) 調査書について 1. 既卒者については改正前の旧様式でも可とします。 2. 印刷形式については、A4サイズの様式2枚をA3用紙1枚に印刷したもので可とします。</p>
3. 入学検定料	<p>インターネット出願サイト登録後に表示される支払い手続き画面に従って、入学検定料を払い込んでください。 ■入学検定料：17,000円（注）振込手数料は志願者負担となります。</p>
4. 封筒 (出願書類提出用)	<p>角形2号（240mm×332mm）の封筒を各自用意してください。インターネット出願サイトから印刷した「宛名シート」を貼付し、必要書類を封入して郵送してください。 前期日程・後期日程ともに出願する場合は、封筒を2枚用意し、それぞれの必要書類を封入し、郵送してください。</p>
B. 医学部医学科 志願者	
1. 志望理由書	<p>インターネット出願サイトトップページから様式（PDF版）をダウンロードし、A4サイズで両面印刷のうえ、志願者本人の自書により記載したものを提出してください。</p>
2. 封筒 (第1段階選抜通知用)	<p>長形3号（120mm×235mm）の封筒を各自用意し、宛先（志願者住所、氏名）を明記し郵便切手410円分（速達分）を貼付して提出してください。</p>
3. 確約書 (「青森県定着枠」志願者のみ)	<p>インターネット出願サイトトップページから様式（PDF版）をダウンロードし、A4サイズで印刷のうえ、志願者及び連帯保証人（身元引受人）本人が該当欄に自署したものを提出してください。</p>
C. 医学部心理支援科学科 志願者	
志望理由書	<p>インターネット出願サイトトップページから様式（Microsoft Excel版）をダウンロードし、直接入力したものをA4サイズで片面印刷して提出してください。（自書不可）</p>

注) 証明書等は、「コピー」と指示がない限り全て原本を提出してください。

(4) 出願上の注意事項

- ① インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。入学検定料を期限までに払い込み、出願に必要な書類を提出期間内に本学に届くよう送付する必要があります。
- ② 出願書類に、「令和7共通テスト成績請求票」(前期日程提出者は「国公立前期日程用」、後期日程提出者は「国公立後期日程用」)を貼り付けていない場合、出願書類の不足、記載事項の記入漏れ等、不備のあるものは受理しません。
- ③ インターネット出願手続完了後の入試区分・学部・学科等の変更は認めません。
- ④ 提出後の出願書類の内容変更等は認めません。ただし、住所等の連絡先が変更となった場合は、速やかに連絡してください。
- ⑤ 受理後の出願書類は、いかなる理由があっても返却いたしません。
- ⑥ 他の国公立大学の推薦入試合格者及び総合型選抜合格者は、当該大学・学部の定める入学辞退手続きにより入学辞退を許可された場合を除いて、本学を受験しても入学許可は得られません。
- ⑦ 提出した出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

2 入学検定料の返還について

払込み済みの入学検定料は、次の場合を除き返還しません。

- ① 入学検定料を払い込んだが出願書類を提出しなかった場合
- ② 入学検定料を払い込んだが出願書類が受理されなかった場合
- ③ 誤って入学検定料を二重に払い込んだ場合
- ④ 第1段階選抜(医学部医学科前期日程)の結果、不合格となった場合
- ⑤ 出願受付後に、大学入学共通テストの受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合

上記のいずれかに該当する場合は、払込み名義人本人からの申し出(本学の定める様式による)に基づき、口座振込みにより返還します。ただし、上記④もしくは⑤に該当する場合は、弘前大学学則第24条により、13,000円を返還します。

令和7年4月1日から30日までを申し出の期間としますので、上記のいずれかに該当する場合は入試課までお問合せください。

なお、申し出に際しては、確認書類として、返還先口座の名義人と口座番号が記載された通帳等のコピーの提出も必要です。

3 入学検定料の免除について

弘前大学では、自然災害による被災者の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、令和6年度に実施する入学者選抜試験について、以下のとおり入学検定料を免除する措置を講じます。

(免除対象となる入学者選抜試験)

令和6年度に実施する学部入試(編入学入試を除く。)及び大学院入試(科目等履修生、研究生及び聴講生は対象外)

(対象者)

免除対象となる入学者選抜試験の志願者で、東日本大震災(平成23年3月11日発生)及び令和6年度に災害救助法が適用された地域で被災し、次のいずれかに該当する方

- ① 学資負担者が居住していた家屋(自己所有のものに限る。)が、全壊、大規模半壊、半壊、流失と認定された方

東日本大震災においては、岩手県、宮城県及び福島県の全市町村並びに青森県、茨城

県、栃木県及び千葉県の災害救助法適用市町村に居住しており、居住していた家屋が上記の被害認定を受けた方

② 学資負担者が災害により死亡または行方不明となった方

③ 居住地が福島第一原子力発電所の事故により、帰還困難区域、居住制限区域または避難指示解除準備区域に指定された方

注) 令和6年度災害救助法の適用を受けない地域であっても、罹災証明書等の提出により対象となる場合がありますので、入試課へお問い合わせください。

(申請の方法)

事前に入試課へ電話等で問い合わせのうえ、所定の申請書に証明書類を添えて、出願書類とともに提出してください。この場合は、出願時に入学検定料を払い込まないでください。

詳細については、弘前大学入試情報ホームページ (<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>) でご確認ください。

4 障害等のある入学志願者の事前相談について

病気・負傷や障害等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上特別の配慮や措置を必要とする方は、令和6年12月27日(金)までに、あらかじめ入試課へ申し出たうえで「弘前大学入学者選抜試験に係る事前相談申請書」(所定様式)を提出してください。

なお、相談内容によっては、対応に時間を要することがあり、本学の試験までに対応できず特別な配慮や措置が講じられないこともありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

また、大学入学共通テストを受験する際の配慮申請とは異なるため、大学入試センターから受験上の配慮について決定されている場合でも、本学へ別途申請する必要がありますので、ご注意ください。

○連絡先

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地

弘前大学学務部入試課

電話 0172-39-3122

○様式ダウンロード先

障害等のある入学志願者の事前相談 (<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/faculty/disabilities/>)

5 受験票の印刷について

受験票は、2月12日（水）（予定）からインターネット出願サイトより印刷できるようになります。インターネット出願サイトにログインして印刷し、試験当日に持参してください。また、試験当日の注意事項等を記した「受験上の注意」も同時に印刷して、内容を熟読してください。なお、受験票は本学からは発送しませんので、必ず各自で印刷してください。

※医学部医学科で第1段階選抜を実施した場合は、志願者全員に「第1段階選抜結果通知書」を送付いたします。合格者は上記により受験票等を印刷してください。

〔受験票に関する注意事項〕

- ① 受験票を印刷後、記載内容を必ず確認してください。出願登録した内容と異なっている場合は、入試課へ2月14日（金）までに連絡してください。
- ② 2月14日（金）になっても、受験票が印刷できない場合は、至急入試課へ連絡してください。
- ③ 実際に試験を受ける「試験場」を受験票に記載していますので、必ず確認し、間違えないよう到来場してください。受験票に記載の試験場以外では、いかなる理由があっても受験を認めません。
- ④ インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではありません。試験当日は、受付番号での受験はできませんので、必ず受験票を持参してください。
- ⑤ 試験当日に、スマートフォン等での画面表示による受験票の提示は認めません。必ず印刷した受験票を持参してください。
- ⑥ 本学に併願した志願者は、前期日程と後期日程の受験票を間違えないように持参してください。

6 インターネット出願の流れ

出願完了までと受験票印刷までの流れは、以下の通りです



STEP

1

▼

▼

STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
出願書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※出願書類…調査書、顔写真データなど
※出願方法の詳細は、「募集要項(12ページ～)」参照

共通テスト
成績請求票

調査書

(顔写真データ)

STEP

2

▼

▼

STEP

2

出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/hirosaki-u/>
または、
大学ホームページ ▶ <https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>
からアクセス

STEP

3

▼

▼

STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

①初めて登録する方は **マイページ登録** からログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って **仮登録メールを送信** をクリックしてください。

③ユーザー登録画面から **ログインページへ** をクリックしてください。

④登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。

⑤ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて **ログイン** をクリックしてください。

⑥初期パスワードの変更を行ってください。
変更後のパスワードは必ず控えてください。
出願情報を確認する場合と出願書類を出力する際に必要になります。

⑦表示された個人情報を入力して **次へ** をクリックしてください。

⑧個人情報を確認して **この内容で登録する** をクリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので**ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



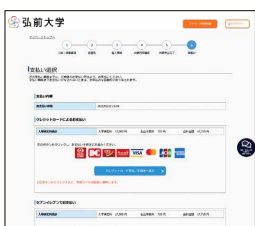
⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



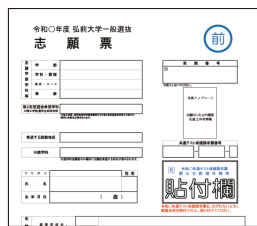
⑥出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。



⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁)

5:8:0:2:1

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

5

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

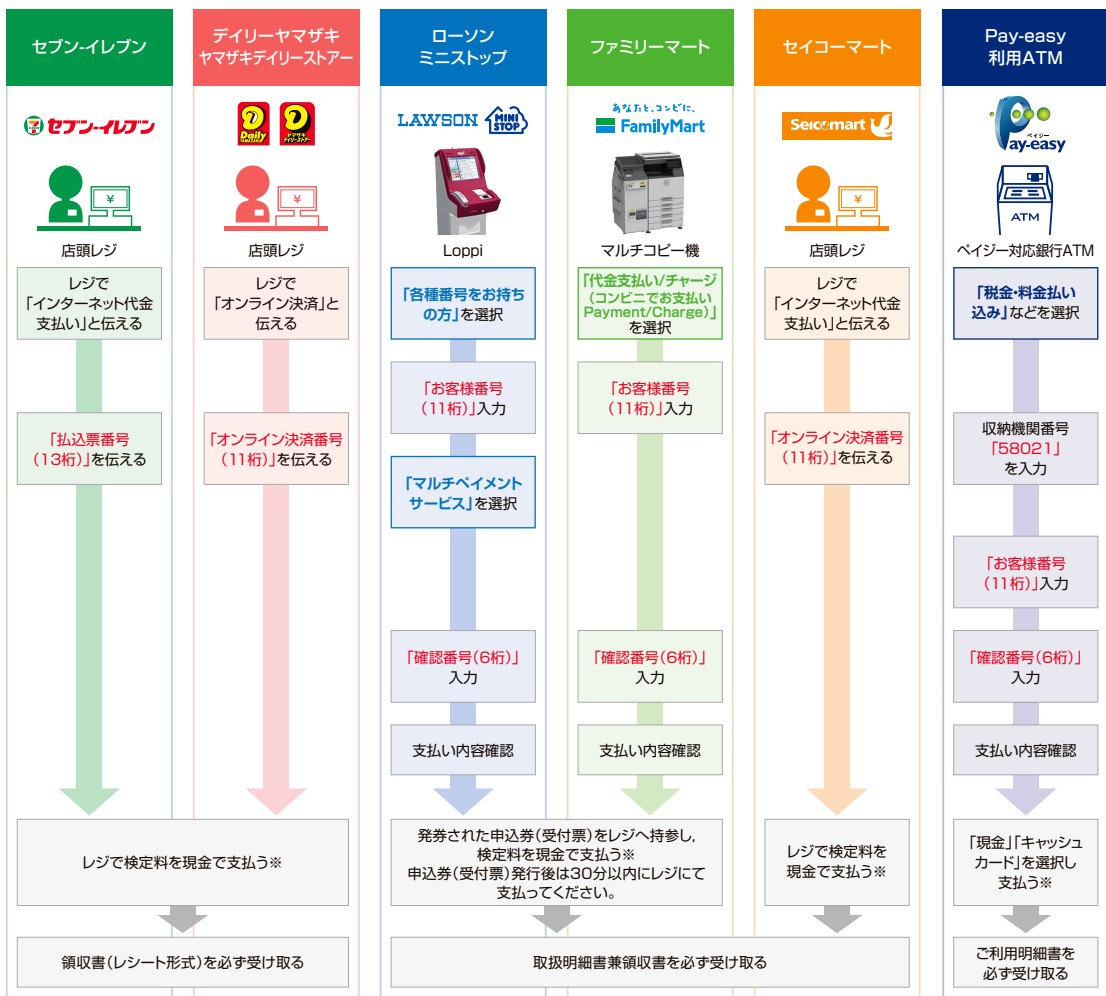


※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

4 銀行ATM



※検定料の他に手数料がかかります。お申し込み時にご確認ください。

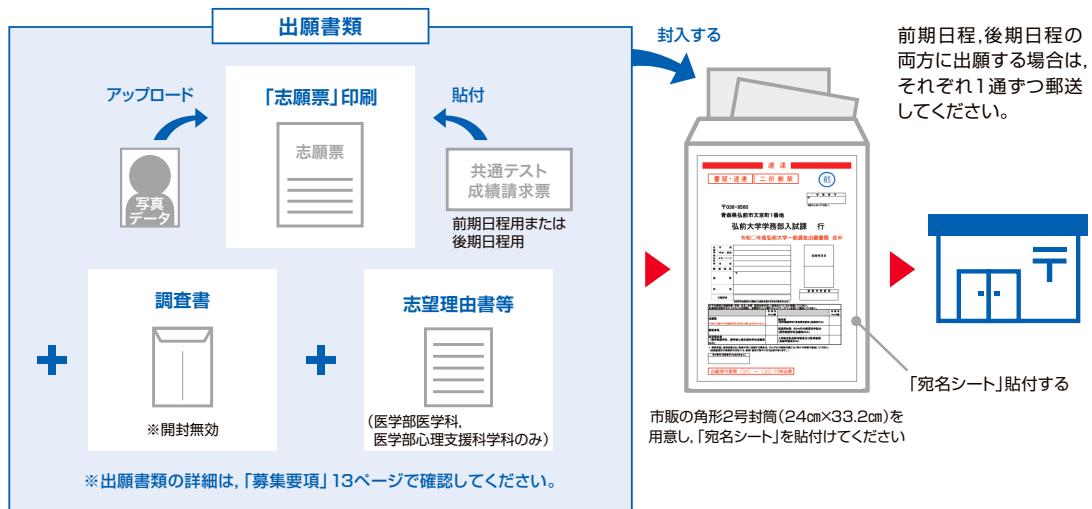
STEP

6

出願書類の印刷と郵送

登録だけでは出願は完了していませんのでご注意ください。

出願登録, 入学検定料の支払完了後に, インターネット出願サイトから「志願票」と「宛名シート」を印刷し, その他の必要書類と併せて郵便局窓口から「書留・速達郵便」で郵送してください。

出願書類
受付期間

令和7年1月27日(月) ~ 2月5日(水)
最終日17:00(郵送必着)

(インターネット出願登録期間)
令和7年1月23日(木) 00:00 ~ 2月5日(水) 16:30

送付先

〒036-8560
青森県弘前市文京町1番地
弘前大学学務部入試課

※出願受理した出願書類は一切返却しません。

「志願票」の印刷方法



- マイページに表示された「志願票(印刷)」のボタンをクリックしてください。
- お支払いが正常に完了すると「志願票(印刷)」のボタンがクリックできるようになり「志願票」, 「宛名シート」の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後, 入学検定料を支払い, 出願書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の受付期間内に書類が届かなければ出願を受理できませんのでご注意ください。

インターネット出願は24時間可能ですが, 出願書類の提出期限に間に合うよう, ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7

受験票の印刷

- 「受験票」および「受験上の注意」は, インターネット出願サイトからマイページにログインし, 各自A4用紙に印刷してください。※郵送はいたしません。
- 印刷は, 2月12日(水)(予定)から可能になります。
- 「受験上の注意」は, 熟読してください。



※試験当日は, 印刷した「受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」を忘れずに持参してください。

ご家庭にインターネット利用や印刷の環境がない場合は, 学校に相談してパソコン等を利用したり, 公共図書館のインターネットサービスを利用する等の対応により, 出願してください。

6 試験実施教科・科目等

1 試験実施教科・科目等に関する留意事項

(1) 大学入学共通テスト

大学入学共通テストにおいて、本学の指定した教科・科目を受験しない場合は、出願資格がなくなりますので、各学部の実施教科・科目及び配点等を参照のうえ、科目名、科目数には十分注意してください。

本学では、過年度の大学入学共通テストの成績は利用しません。

6-1-1. 新教育課程履修者用

学部・学科名	教科・科目名	国語		地理歴史				公民			数学①		数学②		理科					外国語	情報		
	国語	地理総合	歴史総合	歴史総合	公共	地理総合/歴史総合	公共、倫理	公共、政治・経済	公共(再掲)	地理総合/歴史総合	数学Ⅰ	数学Ⅰ、数学Ⅱ	数学Ⅲ	数学Ⅳ	生物基礎/地学基礎	物理基礎/化学基礎	物理	化学	生物	地学	英語(リスニング含む)		情報Ⅰ
人文社会科学部	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	◎ 1	7教科8科目
教育学部	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	◎ 1	6教科8科目 又は 7教科8科目
医学部	医学科	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎ 1	◎ 1	×	○	○	○	○	×	◎ 1	◎ 1	6教科8科目	
	保健学科	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎ 1	◎ 1	×	○	○	○	○	×	◎ 1	◎ 1	6教科8科目	
	心理支援科学科	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	◎ 1	6教科8科目 又は 7教科8科目	
理工学部	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	◎ 1	○	●	●	○	○	◎ 1	◎ 1	6教科8科目		
農学生命科学部	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	◎ 1	○	○	○	○	○	◎ 1	◎ 1	6教科8科目		

(注1) ◎は必須、●はいずれか1科目を必ず含むもの、○は選択科目を示しています。

(注2) □囲みの数字は受験科目数を表しています。

(注3) 大学入学共通テストで受験できる教科・科目の組み合わせについては、大学入学共通テストの受験案内で確認してください。

(注4) 「地理総合/歴史総合/公共」を選択する場合は、3つの出題範囲(「地理総合」、「歴史総合」及び「公共」)のうち、2つを選択解答してください。

※ 人文社会科学部、教育学部及び医学部心理支援科学科で、「地理歴史」及び「公民」から2科目を選択する場合の組み合わせは、別表(23ページ)を参照してください。

(注5) 「理科」については、以下のとおり選択してください。

なお、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」を選択する場合は、4つの出題範囲(「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」)のうち、2つを選択解答する必要があります。

• 人文社会科学部及び教育学部では、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1又は2科目を選択。

• 医学部医学科及び保健学科では、「物理」、「化学」、「生物」から2科目を選択。

医学部心理支援科学科では、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1又は2科目を選択。

• 理工学部では、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目を選択。ただし、「物理」又は「化学」の科目を最低1つ含むこと。

• 農学生命科学部では、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目を選択。

(注6) 「英語」には、リスニングを含みます。リスニングを受験しない場合は、出願資格がなくなります。ただし、リスニングを免除された者は除きます。

配点については、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点を各学部・学科等の配点に換算して利用します。

なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディングの成績を200点満点に換算して素点として利用します。

6-1-3. 別表 地理歴史及び公民において2科目を選択する場合の選択方法について

		地理総合, 地理探究	歴史総合, 日本史探究	歴史総合, 世界史探究	地理総合／歴史総合／公共			公共, 倫理	公共, 政治・経済
					地理総合 及び 歴史総合	地理総合 及び 公共	歴史総合 及び 公共		
地理総合, 地理探究			○	○	×	×	◎	◎	
歴史総合, 日本史探究		○		○	×	◎	×	◎	
歴史総合, 世界史探究		○	○		×	◎	×	◎	
地理総合／ 歴史総合／ 公共	地理総合 及び 歴史総合	×	×	×				◎	
	地理総合 及び 公共	×	◎	◎				×	
	歴史総合 及び 公共	◎	×	×				×	
公共, 倫理		◎	◎	◎	◎	×	×	×	
公共, 政治・経済		◎	◎	◎	◎	×	×	×	

人文社会科学部は、「◎」の組み合わせから選択できます。
 教育学部及び医学部心理支援科学科は、「◎」及び「○」の組み合わせから選択できます。
 「×」の組み合わせは選択できません。

(2) 個別学力検査等

志望する学科等が課す全ての個別学力検査等（25～29ページ参照）を受験しなければ、合格者とはなりません。

①「理科」の得点については、得点調整を行うことがあります。

②「入試過去問題活用宣言」について

本学は「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認められる範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。

入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した場合には、試験終了後、本学ホームページ上で公表します。

「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧については、「入試過去問題活用宣言」ホームページにて公表されています。（<https://www.nyushikakomon.jp/>）

③令和7（2025）年度入試の個別学力検査は、旧教育課程履修者にも配慮した出題とします。特別な経過措置はとりません。

2 各学部の試験実施教科・科目及び配点等

人文社会科学部

学力検査等の日程・実施する学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点									
	教科	科目名等 (※1)	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	情報	外国語	小論文	計
前期	文化創生課程	国 「国語」 を 1	国	現代の国語、言語文化	共通	200	100	100	100 又は 200	100 又は 200	100	200 (※2)	900	1,500
	社会経営課程 (国語選択)	地歴 「地総、地探」、 「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 「地/歴/公」 から 1 (※2)	外	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、 論理・表現Ⅰ・Ⅱ										
		公民 「公、倫」、「公、政・経」、 「地/歴/公 (再掲)」 から 1 (※2)(※3)			個別	300						300	600	
前期	社会経営課程 (数学選択)	数 「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数A」、 「数Ⅱ、数B、数C」 から 1 又は 2 から 3 (※5)	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C (注1)	共通	200	100	100	100 又は 200	100 又は 200	100	200 (※2)	900	1,500
		理 「物基/化基/生基/地基」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から 1 又は 2 (※4)	外	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、 論理・表現Ⅰ・Ⅱ										
		外 「英語」 を 1			個別				300			300	600	
後期	文化創生課程	情 「情報Ⅰ」 を 1	その他	小論文 (注2)	共通	200	100	100	100 又は 200	100 又は 200	100	200 (※2)	900	1,800
	社会経営課程	[7教科8科目]												

【大学入学共通テストの利用教科・科目等】

(※1) 「新教育課程履修者」以外は、「旧教育課程履修者用」の科目を選択することが可能です。(22ページ参照)

その場合は、各教科における科目について、新教育課程履修者用と照合のうえ、科目数不足にならないよう注意してください。

(※2) 「地/歴/公 (「地理総合/歴史総合/公共」)」を選択する場合は、3つの出題範囲 (「地理総合」、「歴史総合」及び「公共」) のうち、2つを選択解答してください。

(※3) 「地歴」及び「公民」から2科目を選択する場合の組み合わせは、別表 (23ページ) を参照してください。

(※4) 「物基/化基/生基/地基 (物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎)」を選択する場合は、4つの出題範囲 (「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」) のうち、2つを選択解答してください。

(※5) 人文社会科学部では、「数学」と「理科」の組み合わせで成績を利用しますので、科目数不足にならないよう注意してください。

(例) 「数学」が1科目の場合は、「理科」は2科目選択して受験する必要があります。

【個別学力検査等】

(注1) 「数A」の出題範囲は「図形の性質、場合の数と確率」、「数B」の出題範囲は「数列」、「数C」の出題範囲は「ベクトル」とします。

(注2) 一般選抜 (後期日程) の「小論文」は2つの試験時間に分けられており、どちらも受験する必要があります。

【大学入学共通テストの配点等】

受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は、得点の高い教科・科目の成績を用います。

ただし、「理科」については、第1解答科目の成績を優先して用います。

(※1) 「数学」「理科」「情報」の3教科4科目 (数学2科目・理科1科目・情報、または数学1科目・理科2科目・情報) の得点のうち、得点が高い3科目 (各100点満点) の成績を用います。

(※2) 「英語」の配点については、リーディング (100点満点) とリスニング (100点満点) の合計得点 (200点満点) とします。

リスニングを免除された場合は、リーディングの成績を200点満点に換算して利用します。

学力検査等の日程・実施する学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点										
	教科	科目名等 (※1)	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	面接	計	合計点
前期 養成課程 教育等 中学校 初等 小学校 コース	国語専修	国「国語」を1 地歴「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「地／歴／公」から1 又は2 (※2) (※3) 公民「公、倫」、「公、政、経」、 「地／歴／公 (再掲)」から1又は2 (※5) 数「数Ⅰ」、「数Ⅱ、数A」、「数Ⅲ、数B、数C」から1又は2 (※4)	国	現代の国語、言語文化 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・ 数B・数C (注1) から1	共通	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	50		950	1,450	
			理	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 (注3) から1	共通	200	500								
			外	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、 論理・表現Ⅰ・Ⅱ	個別	*400			*400 (注3)	*400		100	500		
			その他	個人面接 (注4)											
			国	現代の国語、言語文化	共通	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	50		950		
			その他	個人面接 (注4)	個別	400	500					100	500		
	社会専修	外「英語」を1 「情報Ⅰ」を1 〔6教科8科目又は7教科8科目〕	国	現代の国語、言語文化	共通	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	50		950		
			その他	個人面接 (注4)	個別	400	500					100	500		
			数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・ 数B・数C (注1)	共通	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	50		950		
			その他	個人面接 (注4)	個別		400					100	500		
			理	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 (注3) から1	共通	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	50		950		
			その他	個人面接 (注4)	個別		400 (注3)					100	500		
家庭科専修	国「現代の国語、言語文化」 その他「個人面接 (注4)」	国	現代の国語、言語文化	共通	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	50		950			
		その他	個人面接 (注4)	個別	400	500					100	500			
		外	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、 論理・表現Ⅰ・Ⅱ	共通	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	50		950			
		その他	個人面接 (注4)	個別		500					400	100	500		
		国	現代の国語、言語文化 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・ 数C (注2) から1	共通	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	50		950			
		その他	個人面接 (注4)	個別	*400	500					100	500			
英語専修	理「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」から1 (注3) その他「個人面接 (注4)」	理	化学基礎・化学 生物基礎・生物 (注3) から1	共通	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	50		950			
		その他	個人面接 (注4)	個別		400 (注3)					100	500			
		国	現代の国語、言語文化 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・ 数C (注2) から1	共通	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	50		950			
		その他	個人面接 (注4)	個別	*400	500					100	500			
		理	化学基礎・化学 生物基礎・生物 (注3) から1	共通	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	50		950			
		その他	個人面接 (注4)	個別		400 (注3)					100	500			
特別支援教育専攻	その他「個人面接 (注4)」	共通	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	50		950					
		個別		500					200	200					

- 【大学入学共通テストの利用教科・科目等】
- (※1) 「新教育課程履修者」以外は、「旧教育課程履修者用」の科目を選択することが可能です。(22ページ参照)
その場合は、各教科における科目について、新教育課程履修者用と照合のうえ、科目数不足とならないように注意してください。
 - (※2) 「地／歴／公 (地理総合／歴史総合／公共)」を選択する場合は、3つの出題範囲 (「地理総合」、「歴史総合」及び「公共」) のうち、2つを選択解答してください。
 - (※3) 「地歴」及び「公民」から2科目を選択する場合の組み合わせは、別表 (23ページ) を参照してください。
 - (※4) 「物基／化基／生基／地基 (物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎)」を選択する場合は、4つの出題範囲 (「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」) のうち、2つを選択解答してください。
 - (※5) 教育学部では、「地歴」、「公民」、「数学」、「理科」の組み合わせで成績を利用しますので、科目数不足とならないよう注意してください。
(例) 「地歴」、「公民」から1科目選択した場合は、「数学」及び「理科」は2科目選択して受験する必要があります。

- 【個別学力検査等】
- (注1) 「数A」の出題範囲は「図形の性質、場合の数と確率」、「数B」の出題範囲は「数列」、「数C」の出題範囲は「ベクトル、平面上の曲線と複素数平面」とします。
 - (注2) 「数A」の出題範囲は「図形の性質、場合の数と確率」、「数B」の出題範囲は「数列」、「数C」の出題範囲は「ベクトル」とします。
 - (注3) 「理科」の得点については、得点調整を行うことがあります。
 - (注4) 一般選抜 (前期日程・後期日程) の「個人面接」は、事前に提出される「調査書」を参考資料に用いて実施します。

- 【大学入学共通テストの配点等】
- 「英語」の配点については、リーディング (100点満点) とリスニング (100点満点) の合計得点 (200点満点) とします。
リスニングを免除された場合は、リーディングの成績を200点満点に換算して利用します。
 - 「情報」の配点については、得点 (100点満点) を50点満点に換算して利用します。
 - 受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は、得点の高い教科・科目の成績を用います。
ただし、「地歴」、「公民」及び「理科」については、第1解答科目の成績を優先して用います。

- 【個別学力検査等の配点等】
- 配点に*印を付している教科は、選択を表します。

医学部

学力検査等の日程・実施する学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点													
	教科	科目名等(※1)	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	出願書類	計	合計点	
前 期	医学科	国語 地歴 公民 数 理 外情	「国語」を1 「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「地/歴/公」から1 「公、倫」、「公、政・経」、 「地/歴/公(再掲)」から1 「数Ⅰ、数A」を1 「数Ⅱ、数B、数C」を1 「物理」、「化学」、「生物」から2 「英語」を1 「情報Ⅰ」を1 〔6教科8科目〕	数 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C (注1) 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ 論理・表現Ⅰ・Ⅱ 個人面接(注4)	共通	200	100	200	300	200	50					1,050	1,950
	保健学科 看護学専攻	国語 地歴 公民 数	「国語」を1 「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「地/歴/公」から1 「公、倫」、「公、政・経」、 「地/歴/公(再掲)」から1 「数Ⅰ、数A」を1 「数Ⅱ、数B、数C」を1 「物理」、「化学」、「生物」から2 「英語」を1 「情報Ⅰ」を1 〔6教科8科目〕	数 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C (注2) 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ 論理・表現Ⅰ・Ⅱ 小論文	共通	200	100	200	200	200	50					950	1,350
	保健学科 放射線技術科学 専攻	理 外情	「数Ⅱ、数B、数C」を1 「物理」、「化学」、「生物」から2 「英語」を1 「情報Ⅰ」を1 〔6教科8科目〕	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C (注1) 物理基礎・物理(注3)	共通	200	100	200	200	200	50					950	1,350
保健学科 検査技術科学 専攻	理 外	「物理基礎・物理」から1 「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」(注3)	理 外	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物(注3) 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ 論理・表現Ⅰ・Ⅱ	共通	200	100	200	200	200	50					950	1,350	
																		個別
保健学科 理学療法専攻	数 外 その他	「数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ・数A・数B・数C」から1 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ 論理・表現Ⅰ・Ⅱ 小論文	数 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C (注2) 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ 論理・表現Ⅰ・Ⅱ 小論文	共通	200	100	200	200	200	50					950	1,350	
																		個別
保健学科 作業療法専攻	数 外 その他	「数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ・数A・数B・数C」から1 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ 論理・表現Ⅰ・Ⅱ 小論文	数 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C (注2) 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ 論理・表現Ⅰ・Ⅱ 小論文	共通	200	100	200	200	200	50					950	1,350	
																		個別
心理支援科学科	国語 地歴 公民 数 理 外情	「国語」を1 「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、「地/歴/公」から1 「公、倫」、「公、政・経」、 「地/歴/公(再掲)」から1 「数Ⅰ」、「数Ⅱ、数A」から1 「数Ⅲ、数B、数C」から1 「物基/化基/生基/地基」から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 「英語」を1 「情報Ⅰ」を1 〔6教科8科目又は7教科8科目〕	国 数 外 その他	現代の国語、言語文化 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C (注2) 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ 論理・表現Ⅰ・Ⅱ 出願書類(志望理由書)	共通	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	50					950	1,390	
																		個別

【大学入学共通テストの利用教科・科目等】

- (※1) 「新教育課程履修者」以外は、「旧教育課程履修者用」の科目を選択することが可能です。(22ページ参照)
その場合は、各教科における科目について、新教育課程履修者用と照合のうえ、科目数不足とならないように注意してください。
- (※2) 「地/歴/公(地理総合/歴史総合/公共)」を選択する場合は、3つの出題範囲(「地理総合」、「歴史総合」及び「公共」)のうち、2つを選択解答してください。
- (※3) 「地歴」及び「公民」から2科目を選択する場合は、別表(23ページ)を参照してください。
- (※4) 「物基/化基/生基/地基(物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎)」を選択する場合は、4つの出題範囲(「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」)のうち、2つを選択解答してください。
- (※5) 心理支援科学科では、「地歴」、「公民」、「数学」、「理科」の組み合わせで成績を利用しますので、科目数不足とならないよう注意してください。
(例)「地歴」、「公民」から1科目選択した場合は、「数学」及び「理科」は2科目選択して受験する必要があります。

【個別学力検査等】

- (注1) 「数A」の出題範囲は「図形の性質、場合の数と確率」、「数B」の出題範囲は「数列」、「数C」の出題範囲は「ベクトル、平面上の曲線と複素数平面」とします。
- (注2) 「数A」の出題範囲は「図形の性質、場合の数と確率」、「数B」の出題範囲は「数列」、「数C」の出題範囲は「ベクトル」とします。
- (注3) 「理科」の得点については、得点調整を行うことがあります。
- (注4) 医学科の「個人面接」は、事前に提出される「調査書」及び「志望理由書」を参考資料に用いて実施します。

【大学入学共通テストの配点等】

- 「英語」の配点については、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点(200点満点)とします。
リスニングを免除された場合は、リーディングの成績を200点満点に換算して利用します。
- 「情報」の配点については、得点(100点満点)を50点満点に換算して利用します。
- 受験を要する教科・科目数を超過して受験している場合は、得点の高い教科・科目の成績を用います。
ただし、医学科及び保健学科においては、「地歴」、「公民」について、第1解答科目の成績を用います。
また、心理支援科学科においては、「地歴」、「公民」及び「理科」について、第1解答科目の成績を優先して用います。
- 医学科の一般選抜(前期日程)では、大学入学共通テストの「理科」の配点については、「物理」、「化学」、「生物」から選択した2科目の得点をそれぞれ1.5倍して合計した点数を利用します。

【個別学力検査等の配点等】

- 心理支援科学科の一般選抜(前期日程)では、「志望理由書」をA～Dに4段階評価し、点数化します。各段階の評価点数は、A：40点、B：30点、C：20点、D：10点とします。
- 配点に*印を付している教科は、選択を表します。

【その他】

- 医学科の2段階選抜は、一般選抜(前期日程)の志願倍率が8倍を超える場合に、大学入学共通テストの教科・科目の成績の合計点により行い、その合格者に個別学力検査等を行います。
ただし、上記倍率を超えた場合でも個別学力検査を適切に実施できると判断した場合は、第1段階選抜の倍率を緩和することがあります。

学力検査等の日程・実施する学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点									
	教科	科目名等(※1)	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	計	合計点
前期	数物科学科 (数学選択)	国 「国語」 を1	数	【数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C】 (注1) (注2)	共通	200	100	200	200	200	50	950	1,750	
		地歴 「地総,地探」,「歴総,日探」, 「歴総,世探」,「地/歴/公」												
	公民 「公,倫」,「公,政・経」, 「地/歴/公(再掲)」	から1 (※2)	個別				800				800			
	数物科学科 (数学科選択)	数 「数Ⅰ」,「数Ⅰ,数A」 から1 「数Ⅱ,数B,数C」 を1	数	【数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C】 (注1)	共通	200	100	200	200	200	50	950	1,750	
地球環境防災学科	理 「物基/化基/生基/地基」, から2 「物理」,「化学」,「生物」,「地学」	理	【物理基礎・物理】 から1 【化学基礎・化学】 (注3)	個別				300	500 (注3)		800			
電子情報工学科	外 「英語」 を1	[6教科8科目]	数	【数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C】 (注1)	共通	200	100	200	200	200	50	950	1,750	
物質創成化学科	理 「物理基礎・物理」 から1 「化学基礎・化学」 (注3)													個別
機械科学科	情 「情報Ⅰ」 を1		数	【数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C】 (注1)	共通	200	100	200	200	200	50	950	1,550	
自然エネルギー学科			理	【物理基礎・物理】 から1 【化学基礎・化学】 (注3)	個別							600		
後期	数物科学科 (数学選択)		数	【数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C】 (注1)	共通	200	100	200	200	200	50	950	1,550	
					個別							600		
	数物科学科 (理科選択)		理	【物理基礎・物理】 から1 【化学基礎・化学】 (注3)	共通	200	100	200	200	200	50	950	1,550	
	物質創成化学科				個別									
	地球環境防災学科				個別					600 (注3)		600		
電子情報工学科														
機械科学科														
自然エネルギー学科														

【大学入学共通テストの利用教科・科目等】

- (※1) 「新教育課程履修者」以外は、「旧教育課程履修者用」の科目を選択することが可能です。(22ページ参照)
その場合は、各教科における科目について、新教育課程履修者用と照合のうえ、科目数不足にならないように注意してください。
- (※2) 「地/歴/公(地理総合/歴史総合/公共)」を選択する場合は、3つの出題範囲(「地理総合」、「歴史総合」及び「公共」)のうち、2つを選択解答してください。
- (※3) 「理科」は、「物理」又は「化学」の科目を最低1つ含むことが必要です。なお、「物基/化基/生基/地基(物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎)」を選択する場合は、4つの出題範囲(「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」)のうち、2つを選択解答してください。

【個別学力検査等】

- (注1) 「数A」の出題範囲は「図形の性質、場合の数と確率」、「数B」の出題範囲は「数列」、「数C」の出題範囲は「ベクトル、平面上の曲線と複素数平面」とします。
- (注2) 数物科学科(数学選択)前期日程の「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」は2つの試験時間に分かれており、どちらも受験する必要があります。
- (注3) 「理科」の得点については、得点調整を行うことがあります。

【大学入学共通テストの配点等】

- 「英語」の配点については、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点(200点満点)とします。
リスニングを免除された場合は、リーディングの成績を200点満点に換算して利用します。
- 「情報」の配点については、得点(100点満点)を50点満点に換算して利用します。
- 受験を要する教科・科目数を超過して受験している場合は、得点の高い教科・科目の成績を用います。ただし、「地歴」、「公民」については、第1解答科目の成績を用います。

農学生命科学部

学力検査等の日程・実施する学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点									
	教科	科目名等 (※1)	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	計	合計点
前期	生物学科	国語 を1	理	[化学基礎・化学] から1 [生物基礎・生物] (注1)	共通	200	100	200	200	200	50	950	1,350	
														分子生命科学科
	食料資源学科	公民 [公, 倫], [公, 政・経], [地/歴/公 (再掲)]												
			国際園芸農学科	数 [数I], [数I, 数A] から1 [数II, 数B, 数C] を1	個別				400 (注1)		400			
後期	地域環境工学科	理 [物基/化基/生基/地基], [物理], [化学], [生物], [地学] から2 (※3)	数	[数I・数II・数A・数B・数C] (注2)	共通	200	100	200	200	200	50	950	1,350	
														外 [英語] を1
	情報 [情報I] を1	個別			400		400							
		[6教科8科目]												
後期	生物学科	国語 を1	理	[化学基礎・化学] から1 [生物基礎・生物] (注1)	共通	200	100	200	200	200	50	950	1,450	
														分子生命科学科
	食料資源学科	数 [数I], [数I, 数A] から1 [数II, 数B, 数C] を1												
			国際園芸農学科	理 [物基/化基/生基/地基], [物理], [化学], [生物], [地学] から2 (※3)	個別				500 (注1)		500			
地域環境工学科	外 [英語] を1	個別												

【大学入学共通テストの利用教科・科目等】

(※1) 「新教育課程履修者」以外は、「旧教育課程履修者用」の科目を選択することが可能です。(22ページ参照)

その場合は、各教科における科目について、新教育課程履修者用と照合のうえ、科目数不足とならないように注意してください。

(※2) 「地/歴/公 (地理総合/歴史総合/公共)」を選択する場合は、3つの出題範囲 (「地理総合」, 「歴史総合」及び「公共」) のうち、2つを選択解答してください。

(※3) 「物基/化基/生基/地基 (物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎)」を選択する場合は、4つの出題範囲 (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」) のうち、2つを選択解答してください。

【個別学力検査等】

(注1) 「理科」の得点については、得点調整を行うことがあります。

(注2) 「数A」の出題範囲は「図形の性質、場合の数と確率」, 「数B」の出題範囲は「数列」, 「数C」の出題範囲は「ベクトル」とします。

【大学入学共通テストの配点等】

○「英語」の配点については、リーディング (100点満点) とリスニング (100点満点) の合計得点 (200点満点) とします。

リスニングを免除された場合は、リーディングの成績を200点満点に換算して利用します。

○「情報」の配点については、得点 (100点満点) を50点満点に換算して利用します。

○受験を要する教科・科目数を超過して受験している場合は、得点の高い教科・科目の成績を用います。ただし、「地歴」, 「公民」については、第1解答科目の成績を用います。

7 個別学力検査の評価方法等

(1) 出題方針・出題形式等

教科・科目等	日程	出題範囲	出題方針・出題形式等
国語	前期	現代の国語 言語文化	<p>長文の読解や記述に重点を置いた問題を課すことによって、語彙力・文法力・論理的思考力・表現力等を総合的に評価します。</p> <p>現代文では、長文全体の論理展開や論旨を的確に把握し、それを自らの言葉で論理的に表現できるという点を評価します。古文および漢文では、基礎知識をもとに文章を的確に把握することを求め、登場人物の言動および心情等を問うもの、問題文全体の論旨を問うもの等、多様な論述問題を課します。</p>
数学	前期 ・ 後期	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C *1 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・ 数C *2 *1 数Aの出題範囲は「図形の性質、 場合の数と確率」、数Bの出題範囲 は「数列」、数Cの出題範囲は「ベ クトル」とします。 *2 数Aの出題範囲は「図形の性質、 場合の数と確率」、数Bの出題範囲 は「数列」、数Cの出題範囲は「ベ クトル、平面上の曲線と複素数平 面」とします。	<p>複数の単元における数学的知識を関連付けて考察する論理的思考力を評価します。問題作成にあたっては、基本事項の概念を正しく捉えているか、定理、公式などを正しく活用できるかを問うこととし、公式や解法の暗記だけでは解決できないような問題も出題します。評価にあたっては、題意を正確に理解しているか、正しく計算できているか、また、見つけ出した考えや解答に至るまでの道筋を適切に述べているかの観点を重視します。</p>
物理	前期 ・ 後期	物理基礎・物理	<p>物理現象について記述した文章題を出題することを基本とし、問題文の内容を読み解いて解答に必要な物理法則を選択する判断力、答えを導くまでの論理的思考力およびその過程を記述する表現力を評価します。評価にあたっては、基本的な原理や法則を活用し最終的な解答に至るまでの過程を適切に記述できているかどうかを重視します。</p>
化学	前期 ・ 後期	化学基礎・化学	<p>物質およびそれらが関わる化学的事象に関する問題を出題し、理解度と化学的思考力を評価します。化学の基本的な概念と原理・法則を活用することで、物質の構造、性質および反応を論理的に考察し記述できるかを問います。評価にあたっては、最終的な解答に至るまでの過程を適切に記述できているかどうかを重視します。</p>
生物	前期 ・ 後期	生物基礎・生物	<p>生物や生命現象に関する問題を出題し、生物学の知識・理解度を評価するとともに、観察結果・実験データなどの内容を適切に解釈し、答えを導くまでの論理的思考力・判断力・表現力を評価します。特に生物学の基本的な概念や原理・法則を活用し、最終的な解答に至るまでの過程を適切に記述できているかどうかを重視します。</p>
英語	前期	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ 論理・表現Ⅰ・Ⅱ	<p>英語の文章を正確に理解し、その内容を的確にまとめ、それについての自らの意見を論理的に述べるために必要な英語のコミュニケーション能力を評価します。</p> <p>以上の能力を問うために、(1)まとまった内容の英文を読解し、その概要・要点を把握できること、(2)英語の語彙や、英語の文構造・文法についての正しい知識を持っていること、(3)さまざまな場面での英語の会話の構成を的確に理解できること、(4)英文のエッセイを作成できること等に重点をおいて、論理的な思考力・読解力・表現力等を評価するための問題を課します。</p>

小論文 (医学部保健学科)	前期	保健医療専門職を目指す学生にふさわしい基礎的学力，協調性，向上心，研究心を測るため，保健医療分野（人間，社会，環境，健康，医療，福祉など）にかかわる課題を提示して論述させます。また，資料や文献を与え，論述させることもあります。問題意識，洞察力，論理構成力，表現力，適性などを重視します。（800字以内）
小論文 (人文社会科学部)	後期	人間の営みや現代社会が直面している課題等について，資料として提示された文献等をふまえて，自らの意見を述べるという論述形式の問題を課します。自らの考えを筋道立てて組み立て，それを制限字数内で論理的で説得力のある文章として表現することが求められます。 資料として提示された文献等の内容を十分に理解していること，設問に対して自分の考えを論理的に述べていること，日本語の文章表現として適切であること等が評価のための判断の基準となります。（2問 各800字以内）

(2) 面接の実施方法・評価方法等

日程	学部・学科等			実施方法・評価方法等
前期	教育学部	学校教育教員養成課程	小学校コース	<p>複数の教員により受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり12分程度 出願の際に提出された調査書を面接の際の参考資料として使用する。</p> <p>質疑応答等を通して，①自己表現能力，②教職への目的意識，③教員としての適性・資質・能力，④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し「行動力」と「意欲」を評価する。</p>
			中学校コース	
国語専修				
社会専修				
数学専修				
理科専修				
家庭科専修				
英語専修				
			特別支援教育専攻	
	医学部		医学科	<p>複数の教員で将来性，積極性，信頼感，自己統制，社会性を受験者1人ずつに問う面接（複数の教員で1人の受験者を面接する方式）を行う。 1人当たり15分程度 出願の際に提出された調査書及び志望理由書を面接の参考資料として使用する。</p>
後期	教育学部	学校教育教員養成課程	小学校コース	<p>複数の教員により受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり15分程度 出願の際に提出された調査書を面接の際の参考資料として使用する。</p> <p>質疑応答等を通して，①自己表現能力，②教職への目的意識，③教員としての適性・資質・能力，④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し「行動力」と「意欲」を評価する。</p>
			特別支援教育専攻	

(3) 出願書類の記載内容・評価方法等

医学部医学科及び心理支援科学科を除く学部学科については、「志望理由書」の提出は求めません。また、「調査書」については、出願要件確認のために提出は求めますが、評価対象とはしません。

なお、教育学部及び医学部医学科においては、以下のとおり出願書類を面接の参考資料とします。

学部・学科	記載内容・評価方法等
教育学部	【調査書】 面接の参考資料とする。
医学部医学科	【調査書・志望理由書】 面接の参考資料とする。(志望理由書は800～1000字)
医学部 心理支援科学科	【志望理由書】 志望理由、入学後の学習計画と大学卒業後の進路（公認心理師資格取得後の展望を含む）等について、これまでの勉強やさまざまな活動を通して得た経験を基に自分の考えを記入させる。 本学科に対する理解や、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などにより、「行動力」及び「意欲」を評価する。(各項目300字程度) 【評価方法等】 出願書類（志望理由書）はA～Dに4段階評価し、点数化する。 各段階の評価点数は、A：40点、B：30点、C：20点、D：10点とする。

(4) 合否判定基準

人文社会科学学部	<p>【前期日程・後期日程】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総得点順に合格者を決定する。 2. 総得点が同点の場合は、個別学力検査等の得点の高い者を上位とする。
教育学部	<p>【前期日程・後期日程】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総得点順に合格者を決定する。 2. 総得点が同点の場合は、個別学力検査等の得点の高い者を上位とする。 3. 個人面接の得点が低いと不合格になることがある。
医学部	<p>○医学科</p> <p>【前期日程】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総得点順に合格者を決定する。 2. 総得点が同点の場合は、個別学力検査等の得点の高い者を上位とする。 3. 2. が同点の場合は、個人面接の得点の高い者を上位とする。 4. 個人面接の得点が低いと不合格になることがある。
	<p>○保健学科</p> <p>【前期日程】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総得点順に合格者を決定する。 2. 総得点が同点の場合は、個別学力検査等の得点の高い者を上位とする。
	<p>○心理支援科学科</p> <p>【前期日程】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入学共通テスト、個別学力検査及び出願書類（志望理由書）の総得点順に合格者を決定する。 2. 総得点が同点の場合は、個別学力検査、出願書類の順序で得点の高い者を上位とする。
理工学部	<p>【前期日程・後期日程】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入学共通テスト及び個別学力検査の総得点順に合格者を決定する。 2. 総得点が同点の場合は、個別学力検査の得点の高い者を上位とする。
農学生命科学部	<p>【前期日程・後期日程】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総得点順に合格者を決定する。 2. 総得点が同点の場合は、個別学力検査等の得点の高い者を上位とする。
全学部共通	<p>【前期日程・後期日程】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個別学力検査等のいずれか1科目でも得点が著しく低い場合、不合格になることがある。

8 試験時間割

前期日程

学部・学科等		月日(曜日)	2月25日(火)				2月26日(水)	
人文社会科学部	文化創生課程		英語 9:00~10:30		国語 11:30~13:00			
	社会経営課程	国語選択	英語 9:00~10:30		国語 11:30~13:00			
		数学選択	英語 9:00~10:30		数学 11:30~13:00			
教育学部	初等中学校教育専攻	小学校コース	英語 9:00~10:30		国語 11:30~13:00		面接 9:00~17:00	
			数学 11:30~13:00		理科 14:30~16:00			
	中等中学校教育専攻	国語専修			国語 11:30~13:00			
		社会専修			国語 11:30~13:00			
		数学専修			数学 11:30~13:00			
		理科専修				理科 14:30~16:00		
		家庭科専修			国語 11:30~13:00			
	特別支援教育専攻				国語 11:30~13:00			
					数学 11:30~13:00			
	養護教諭養成課程					理科 14:30~16:00		
医学部	医学科		英語 9:00~10:30		数学 11:30~13:00		面接 9:00~17:00	
	保健学科	看護学専攻	英語 9:00~10:30		数学 11:30~13:00		小論文 14:30~16:00	
		放射線技術科学専攻			数学 11:30~13:00		理科 14:30~16:00	
		検査技術科学専攻	英語 9:00~10:30				理科 14:30~16:00	
		理学療法学専攻	英語 9:00~10:30		数学 11:30~13:00		小論文 14:30~16:00	
		作業療法学専攻	英語 9:00~10:30		数学 11:30~13:00		小論文 14:30~16:00	
心理支援科学科		英語 9:00~10:30		国語 11:30~13:00				
				数学 11:30~13:00				
理工学部	数物科学科	数学選択			数学 11:30~13:00		数学 14:30~16:00	
		数学科選択			数学 11:30~13:00		理科 14:30~16:00	
	物質創成化学科				数学 11:30~13:00		理科 14:30~16:00	
	地球環境防災学科				数学 11:30~13:00		理科 14:30~16:00	
	電子情報工学科				数学 11:30~13:00		理科 14:30~16:00	
	機械科学科				数学 11:30~13:00		理科 14:30~16:00	
	自然エネルギー学科				数学 11:30~13:00		理科 14:30~16:00	
農学生命科学部	生物学科						理科 14:30~16:00	
	分子生命科学科						理科 14:30~16:00	
	食料資源学科						理科 14:30~16:00	
	国際園芸農学科						理科 14:30~16:00	
	地域環境工学科				数学 11:30~13:00			

注1) 面接の終了時間については、受験者数によって変更することがあります。

注2) 理工学部数物科学科(数学選択)の数学は、11:30~13:00と14:30~16:00の両方を受験してください。

後期日程

学部・学科等		月日 (曜日)	3月12日 (水)		
人文社会科学部	文化創生課程	小論文 9:00~10:30		小論文 11:30~13:00	
	社会経営課程	小論文 9:00~10:30		小論文 11:30~13:00	
教育学部	初等中等教育専攻等 小学校コース	面接 9:00~17:00			
	特別支援教育専攻				
理工学部	数物科学科	数学 選択	数学 9:00~10:30		
		理科 選択	理科 9:00~10:30		
	物質創成化学科	理科	9:00~10:30		
	地球環境防災学科	理科	9:00~10:30		
	電子情報工学科	理科	9:00~10:30		
	機械科学科	理科	9:00~10:30		
	自然エネルギー学科	理科	9:00~10:30		
農学生命科学部	生物学科	理科	9:00~10:30		
	分子生命科学科	理科	9:00~10:30		
	食料資源学科	理科	9:00~10:30		
	国際園芸農学科	理科	9:00~10:30		
	地域環境工学科	理科	9:00~10:30		

注1) 面接の終了時間については、受験者数によって変更することがあります。

注2) 人文社会科学部の小論文は、9:00~10:30と11:30~13:00の両方を受験してください。

9 試 験 場

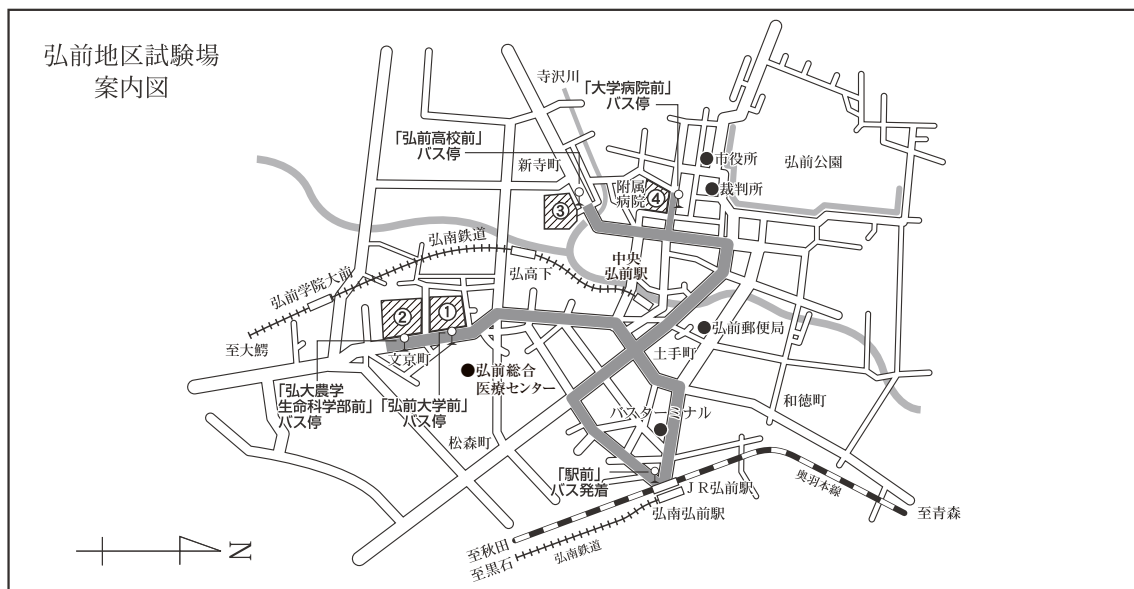
前期日程においては、受験者の利便性を考慮し、遠隔地にも試験場を設けて試験を実施します。各試験場において試験を実施する学部・学科等は、以下のとおりです。

なお、後期日程は、弘前地区試験場のみでの実施となります。

学部等名	試 験 場			
	前期日程			後期日程
	(1) 弘前地区	(2) 仙台地区	(3) 札幌地区	弘前地区
人文社会科学部	○	○	○	○
教育学部	○	×	×	○
医学部医学科	○	×	×	
医学部保健学科	○	○	○	
医学部心理支援科学科	○	○	○	
理工学部	○	○	○	○
農学生命科学部	○	○	○	○

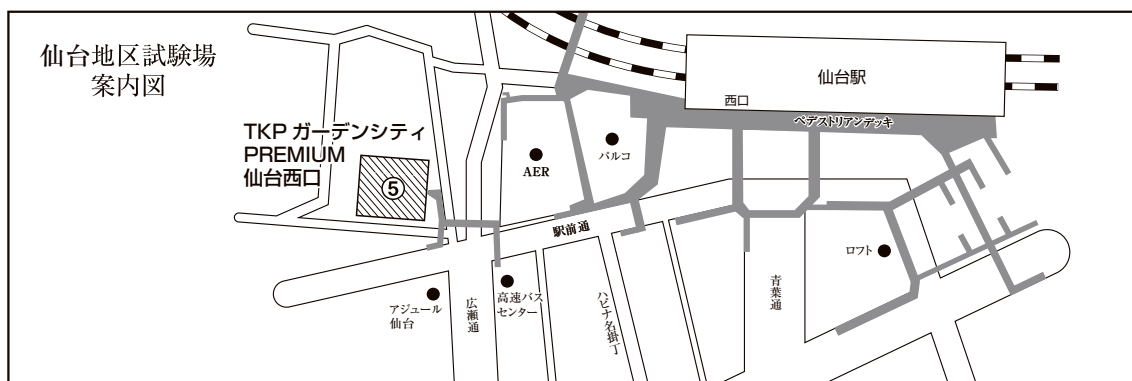
【弘前地区試験場】（前期日程・後期日程）

志 願 学 部	日 程	試 験 場	所在地（交通案内・バス路線）	
			所在地（交通案内・バス路線）	
弘 前 地 区	人文社会科学部 前 後	① 弘前大学総合教育棟	青森県弘前市文京町1番地 ・徒歩 JR弘前駅から約20分 ・バス JR弘前駅前3番のりばから学園町行、小栗山行、狼森行 「弘前大学前」下車	
			教育学部 前 後	① 弘前大学教育学部
	医学部 医 学 科	前 期	③ 青森県立弘前高等学校	青森県弘前市新寺町1番1号 ・徒歩 JR弘前駅から約35分 ・バス JR弘前駅前8番のりばから桜ヶ丘行（金属団地経由）、弘前南高校行、久渡寺行 「弘前高校前」下車
				医学部 保 健 学 科
	医学部 心 理 支 援 科 学 科			
	理工学部 前 後	② 弘前大学理工学部	青森県弘前市文京町3番地 ・徒歩 JR弘前駅から約25分 ・バス JR弘前駅前3番のりばから学園町行、小栗山行、狼森行 「弘大農学生命科学部前」下車	
	農学生命科学部 前 後		② 弘前大学農学生命科学部	



【仙台地区試験場】（前期日程のみ）

	志 願 学 部	日 程	試 験 場	所 在 地（交通案内）
仙 台 地 区	人文社会科学部	前 期	⑤ TKPガーデンシティ PREMIUM仙台西口	宮城県仙台市青葉区花京院1-2-15 ソラプラザ5F/7F ・ J R 仙台駅西口から徒歩約3分
	医学部保健学科			
	医学部心理支援科学科			
	理 工 学 部			
	農 学 生 命 学 部			



【札幌地区試験場】（前期日程のみ）

	志 願 学 部	日 程	試 験 場	所 在 地（交通案内・バス路線）
札 幌 地 区	人文社会科学部	前 期	⑥ 札幌コンベンション センター	北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1 ・ 徒歩 地下鉄東西線東札幌駅 出口から約8分 ・ バス 札幌駅前 JRバス11番のりば 新札幌駅行き 「中央1条1丁目」 新札幌バスターミナル JRバス11番のりば JR札幌駅行き 「中央1条1丁目」
	医学部保健学科			
	医学部心理支援科学科			
	理 工 学 部			
	農 学 生 命 学 部			



（注1） 前期日程の試験地区は、志願者の希望に基づき受験票で指定しますので、指定された地区の試験場で受験してください。指定された地区試験場以外では、いかなる理由があっても受験できません。

（注2） 個別の特別な事情等により仙台地区・札幌地区試験場での受験が認められない場合もあります。

（注3） 試験場に関するご質問は、弘前大学学務部入試課へお願いします。
試験場となる各施設へは問い合わせないでください。

10 受験上の注意

1. 受験票に記載された試験場以外では受験できませんので、試験場を間違えないように注意してください。(各試験場までの交通案内は、36～37ページ参照)
2. 試験前日には、「試験場内案内図」、「受験番号ごとの試験室割振一覧」及び「その他の注意事項」等を各試験場の入口に掲示します。試験前日の午後1時から確認できます。
ただし、医学部医学科試験場及び仙台・札幌地区試験場については、前日の午後3時から確認可能となります。
なお、各試験場とも試験前日は試験場内への立ち入りはできません。
3. **車両での試験場構内への乗り入れは禁止します。**
4. 試験当日は、試験開始時刻の20分前までに入室してください。監督者による説明が始まります。**(試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後20分以内に限り、受験を認めます。)**
5. 試験当日は、本学が交付した **弘前大学受験票** 及び **大学入学共通テスト受験票** を必ず持参し、入場の際に係員に提示してください。
6. 着席中は、**弘前大学受験票** 及び **大学入学共通テスト受験票** を必ず机上の受験番号の手前に置いてください。
また、席を離れる際や、試験場の外に出るときには、**弘前大学受験票** 及び **大学入学共通テスト受験票** の両方を必ず携帯し、提示を求められた際にはすぐに対応できるようにしてください。
7. 医学部医学科の受験者は、上履きを持参してください。(試験会場の弘前高等学校は土足厳禁です。)
8. 試験室には時計がありませんので各自準備してください。ただし、計算機能の付いたものや、音が出る設定のままでの使用はできません。
9. 試験時間中、机の上に置けるものは、**受験票、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル**(黒い芯に限る。)、**消しゴム、鉛筆削り**(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。)、**時計**(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマーや学習タイマー、大型のものを除く。)、**眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー**(袋又は箱から中身だけを取り出したもの)、**目薬**です。これらは他人と共用してはいけません。
10. 試験時間中、**使用すると不正行為となるものは、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)**、**コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等)、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類**です。
11. 試験時間中に使用すると不正行為となる電子機器類は、試験場に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切り、カバン等に入れて保管してください(身に付けないこと)。試験開始前に、監督者の指示で電源が切られているか等の確認を行います。試験中に音を出した場合は、不正行為とみなされることがあります。(時計の代用としても認めません。)
12. 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。

13. 耳栓は、監督者の指示が聞こえない場合がありますので、使用できません。
※ 試験時間中、病気・負傷や障害等により机の上に置けるもの以外のものを使用したい場合は、事前相談申請が必要です。

14. 不正行為

- ① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で試験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績は無効となります。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- ア 出願書類や解答用紙に故意に虚偽の記入（受験票、写真票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど）をすること
- イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること
- ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること
- エ 配付された問題冊子を試験時間中に試験室から持ち出すこと
- オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと
- カ 「解答はじめ」の指示の前に問題冊子を開いたり、解答を始めること
- キ 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること
 - ※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、事前相談申請が必要です。）
- ク 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること
- ケ 「解答やめ」の指示に従わず解答を続けること

- ② 上記①以外にも次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず不正行為と認定された場合の取り扱いは、上記①と同様です。

- ア 試験時間中に定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をカバン等にしまわず、身に付けていたり手に持っていた場合
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行を妨げた場合
- ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること
- エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること
- オ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと
- カ その他、試験の公平性を損なう恐れのある行為をすること

※試験実施状況のお知らせ

天候及び公共交通機関の遅れ等により試験時間を繰り下げる場合など、緊急のお知らせは特設サイトに掲載します。試験前に確認してください。


- 特設サイト <https://sp-nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>

11 入学試験における感染症対応について

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ，麻疹，水痘，新型コロナウイルス感染症等）に罹患し入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の場合は，受験できません。ただし，病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められたときは，この限りではありません。

上記の理由により受験できなかった場合，追・再試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。日頃から，手洗いなどの手指衛生，換気等により各自感染防止に努め，体調管理には十分注意してください。

12 合格者の発表

合格者発表日		発表方法
前期	令和7年3月6日（木） 午後2時（予定）	特設サイト (https://sp-nyushi.hirosaki-u.ac.jp/) 上で発表 
後期	令和7年3月20日（木） 午後2時（予定）	

合格者には，「合格通知書」を合格発表後速やかに，出願時の登録住所あてに速達で郵送します。合格者の受験番号は本学ホームページでも確認できますが，ホームページの掲載情報は本学の情報提供サービスの一環として行うものであり，「合格通知書」をもって正式な通知とします。なお，電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

注）「合格通知書」の到着には，地域にもよりますが，合格発表後2～3日かかる場合があります。

13 入学手続

(1) 入学手続の方法

入学試験に合格した者は，Webサイトにて入学手続を行った後，必要書類一式を本学に，「郵送」（書留・速達，郵送先は入試課）してください。郵送では間に合わないなど，やむを得ない事情がある場合には，手続期間中の平日午前9時～午後4時までに入試課へ持参してください。

期日に手続を完了しない者は，**入学を辞退**したものとして取り扱います。

	手続期間
前期日程	令和7年3月6日（木）から令和7年3月15日（土） 午後5時必着
後期日程	令和7年3月20日（木）から令和7年3月27日（木） 午後5時必着

(2) 入学手続の際に提出・納付するもの

入学手続の際には，以下のものが必要になります。

① 大学入学共通テスト受験票	試験後も大切に保管しておいてください。
② 入学金 282,000円（予定） （入学金減免を申請する場合は除く）	合格通知の際に，本学所定の振込用紙を送付します。 銀行窓口での納付となります。

※医学部医学科合格者は上記①，②のほか，次の③，④の提出が必要です。

③ 健康リスクに関する承諾書（所定用紙）全員

④ 誓約書（所定用紙）青森県定着枠合格者

※授業料は、年額535,800円（前期分267,900円 後期分267,900円）（予定）になります。納付期限は、前期分5月31日、後期分10月31日となりますが、希望により入学料と併せて前期分又は年額（前期分+後期分）を前納することができます。ただし、授業料減免を申請する場合は、授業料を前納しないでください。

※入学時までに入学金及び授業料が改定された場合は、それぞれ改定後の額となります。また、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※入学金及び授業料の免除・徴収猶予については、**42ページ「[16](#)入学金及び授業料の減免について**」をご覧ください。

(3) 入学手続に関する注意事項

- ① 所定の期日までに、必要な書類を送付し入学手続を完了する必要があります。期日までに入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとみなします。
- ② 本学に入学手続を行った者は、他の国公立大学・学部に入学金手続を行うことはできません。また、他の国公立大学・学部において入学手続を行った者は、これを取り消して本学に入学することはできません。
- ③ 本学の前期日程合格者で入学手続を行った者は、後期日程試験を受験しても合格者となることはできません。
- ④ 本学の総合型選抜合格者で入学手続を行った者は、前期日程及び後期日程試験を受験しても合格者となることはできません。
- ⑤ 入学手続完了者が、諸事情により入学を辞退することとなった場合には、速やかに入試課まで連絡してください。〔電話番号 0172-39-3122〕
- ⑥ 納付済みの入学金については、入学手続完了後は原則として返還しません。入学手続時に入学金の減免を申請する場合は、入学金を絶対に納付しないようご留意願います。
- ⑦ 納付済みの授業料については、令和7年3月31日（月）午後5時までに入学を辞退した場合に限り、当該授業料相当額を返還します。

14 追加合格者

合格者の入学辞退等により入学定員に欠員が生じた場合は、追加して合格者を決定することがあります。この合格者の決定は、追加合格候補者に該当する受験者本人に直接連絡し、入学する意志を確認した者について行います。(追加合格候補者は発表しません。)

- ① 連絡・確認の時期
令和7年3月28日(金)から3月31日(月)までの間に行います。
- ② 連絡・確認の方法
電話で本人あて(登録済の電話番号)に行います。
代理は認められません。
- ③ 追加合格者の入学手続等
追加合格を決定した際に連絡します。

15 入学試験個人成績の開示

令和7年度入学試験における個人成績を以下のように開示します。

開示内容	総得点及び試験科目毎の得点を開示します。 ※大学入学共通テストの結果に関しては、選考で使用した傾斜配点後の得点を科目毎に開示します。 ※個別学力検査の理科で得点調整が行われた場合は、調整後の点数で開示します。
開示方法及び期間	令和7年5月7日(水)～5月31日(土)の期間中にインターネット出願サイトからマイページにログイン後、閲覧できます。閲覧にはマイページへのログインID、パスワードの入力が必要です。※出願時に開示希望した方のみ閲覧できます。 URL : https://e-apply.jp/ds/hirosaki-u/

16 入学料及び授業料の減免について

〈日本学生支援機構の給付型奨学金の「予約採用候補者の方」へ〉

日本学生支援機構の給付型奨学金の「予約採用候補者の方」は、本学への入学手続の際に入学料及び授業料の減免を申請(必須)することにより、入学料及び令和7年度前期の授業料が支援区分に応じて減免されます。

なお、減免申請手続の詳細は、合格者の方に送付する文書に記載しています。

〈日本学生支援機構の給付型奨学金の「在学採用」に申し込む方へ〉

日本学生支援機構の給付型奨学金の「予約採用」に申し込まなかった方も、本学入学後に同機構の給付型奨学金の「在学採用」に申し込み、給付型奨学金に採用された場合は、入学料及び令和7年度前期の授業料が支援区分に応じて減免されます。

なお、一連の手続に関する詳細は、合格者の方に送付する文書に記載しています。

〈令和7年度からの多子世帯支援による授業料減免を希望される方へ〉

日本学生支援機構の給付型奨学金の「予約採用候補者の方」のうち、選考により多子世帯支援対象者に採用された方で、本学への入学手続の際に入学料及び授業料の減免を申請(必須)された場合、授業料減免の対象となります。

また、予約採用候補者ではないが、支援対象の多子世帯区分に該当する方は、日本学生支援機構の給付型奨学金の「在学採用」に申し込み、選考により多子世帯支援対象者に採用された方が授業料減免の対象となります。

なお、手続に関する詳細は、合格者の方に送付する文書に記載しています。

※多子世帯支援への申請については、令和6年11月1日現在の情報をもとに掲載していま

す。追加・変更等あれば随時本学ホームページにてお知らせします。

注)日本学生支援機構の給付型奨学金に申し込むためには、「収入・資産に関する要件」や「国籍・在留資格に関する要件」、「大学等に進学するまでの期間に関する要件」など、いくつかの要件をすべて満たしている必要があります。ついては、日本学生支援機構の給付型奨学金の「在学採用」に申し込む方は、本学ホームページの「弘前大学で学びたい方へ」→「入学料・授業料免除等」→「学部入学者」に記載されている関連リンク先を参照のうえ、「**在学採用**」の認定要件を満たしているか否かを必ず確認してください。

〈重要〉

入学手続きの際に入学料の減免を申請した方は**入学料を納付せずとも入学が許可されます**ので、**入学手続きの時に入学料を納付しない**ように注意してください。

入学料の減免を申請した方には、本学入学後、本学学生課から「入学料減免結果通知書」が交付されます。

入学料の減免を申請した方の入学料納付時期は、「入学料減免結果通知書」の受領後になります。(全額免除が許可された場合は、入学料の納付は必要ありません。)

○問合せ先

〒036-8560 青森県弘前市文京町1 弘前大学学務部学生課 生活支援グループ

電話：0172-39-3117

時間：平日9：00～17：00

※令和7年2月21日、25日及び3月11日、12日は一般選抜実施及びその準備のため不在となります。窓口での申請書類受取及び電話照会ができませんので注意してください。

17 学生寮への入寮について

令和7年1月頃に本学ホームページに「入寮案内」が掲載されますので、必要書類や受付期間などはそちらをご確認ください。

ご覧になれない場合は、下記の問合せ先までご連絡をお願いします。

○ホームページURL

<https://www.hirosaki-u.ac.jp/campuslife/consultation/gakuryo/>

○問合せ先

弘前大学学務部学生課 学生支援グループ

電話：0172-39-3107 FAX：0172-39-3119

18 個人情報の取扱いについて

(1) 利用目的

志願者から提出された個人情報は、入学者選抜のほか、次の範囲で利用します。

- ① 入学者の学籍管理及び学生生活支援に関すること。
- ② 入学者選抜の改善のための調査・研究に関すること。
- ③ その他、教育・研究に関すること。

上記の利用目的に係る個人情報の取扱い業務の全部又は一部を外部に委託する場合があります。

(2) 国公立大学間の情報提供

国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続等に関する個人情報（氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テスト受験番号）を大学入試センター及び併願先国公立大学へ提供します。

(3) 第三者への提供

入学後の学生生活支援等のため、志願者の希望に基づき、弘前大学と業務委託契約を締結している弘前大学生生活協同組合から資料（新生活サポート、教科書教材、アパート等の情報パンフレット）を送付します。

資料請求を希望する方の同意がある場合に限り、弘前大学生生活協同組合へ個人情報（氏名、住所、電話番号、本学受験番号）を提供します。同意の有無については、インターネット出願時に確認いたします。

(4) EU一般データ保護規則（GDPR）の適用に係る手続きについて

欧州経済領域（EEA）に在住する者は、EU一般データ保護規則（General Data Protection Regulation（GDPR））の適用を受けるため、別に手続きが必要となるので、事前に下記連絡先に連絡してください。

弘前大学学務部入試課 電 話：0172-39-3122 FAX：0172-39-3125 メー ル：nyushi@hirosaki-u.ac.jp

19 各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

人文社会科学部

1) 人文社会科学部が求める学生像

人文社会科学部では、多元的な文化理解と現代社会に対する多面的理解を重視したカリキュラムを提供することによって、地域文化を含む自国の文化を創造し発信する力、地域課題を含めて現代社会が直面している諸課題を発見・分析・解決する力を養い、社会に貢献する人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 人文科学と社会科学の諸領域（考古学、歴史学、文学、哲学、法学、経済学、経営学、社会学等）に関わる専門的知識・技能を習得するための基礎学力
- 学んだ専門的知識・技能を文化の振興や社会の発展に役立てるための行動力
- 人間文化の発展に貢献することや現代社会が直面する複雑な問題を解決することへの意欲

また、人文社会科学部の各課程は、それぞれ次のような学生を求めます。

【文化創生課程】

- 地域社会の発展のために、地域の文化振興や地域のグローバル化の推進等の活動を担っていきけるような行動力のある人
- 国内外の有形無形の文化を人類共通の遺産として次世代に伝えていくこと、深い歴史認識に立って世界情勢を的確に見極めることに意欲的である人

【社会経営課程】

- 地域社会の発展のために、自治体の政策立案や地域産業の育成、地域住民との協働による問題解決等に貢献していくことができるような行動力のある人
- 少子高齢化や人口減少、経済・産業基盤の変化等、現代社会が直面する諸課題を解決することに意欲的である人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 教科・科目の学習を通して、歴史文化や社会に関する基礎知識をはじめ、論理的思考力・情報処理能力、コミュニケーション能力等を身に付けておく必要があります。
- グループ学習等の体験型学習を通して、自分自身の考えを積極的に発信していく力や学習に主体的に参加する姿勢を身に付けておく必要があります。
- 物事を多面的に理解し、複雑化した問題を的確に分析する力を養うために、国内外の様々な問題に広く関心を持つ姿勢や、多様な分野の学習に積極的に取り組む姿勢を身に付けておく必要があります。

3) 入学者選抜の基本方針

人文社会科学部では、人文社会科学分野の人材として育つにふさわしい学力・行動力・意欲を有する学生を選抜する目的で、多面的・総合的な評価方法により、別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。	○		
	個別学力検査				
一般選抜 (後期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の成果を幅広く応用・展開し、様々な課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から、左記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。	○		
	小論文				
総合型選抜 I	小論文	本学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解した上で、本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、左記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。	○	○	○
	個人面接				
	調査書				
	学習計画書				

【別表2】選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
小論文	一般・後期	人間の営みや現代社会が直面している課題等について、文献等の資料を提示し自分の考えを述べさせます。 資料が示していることを十分に理解しているか、設問に対して自分の考えを論理的に述べているか、日本語の文章表現として適切であるか等を判断基準として、「学力」を評価します。
	総合 I	一つのテーマについて論述させます。 設問に対して自分の考えを論理的に述べているか、日本語の文章表現として適切であるか等を判断基準として、「学力」を評価します。
個人面接	総合 I	自己PR、志望理由と入学後の学習計画、大学卒業後の進路等について口頭発表させ、発表内容に関する質疑応答を行います。 アドミッション・ポリシーを念頭に置いた志望課程への関心と意欲が高いか、大学入学後の学習計画と将来への見通しについては明確か、質疑応答が的確になされているか等を判断基準として、「学力」、「行動力」、「意欲」を評価します。
調査書	総合 I	高等学校での科目の履修状況と学習成果、教科外活動の状況、社会貢献活動・各種の資格の取得状況等を判断基準として、「学力」、「行動力」、「意欲」を評価します。
学習計画書	総合 I	志望理由、入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について、これまでの勉強や様々な活動を通して得た経験を元に記述させます。 アドミッション・ポリシーを理解し自己PRができていないか、志望理由が明確で学習計画は的確に立てられているか、将来の進路希望は明確か等を判断基準として、「学力」、「行動力」、「意欲」を評価します。

教 育 学 部

1) 教育学部が求める学生像

教育学部では、子どもの発育発達や能力に応じた主体的な学びを支援することのできる、学校現場で活躍できる専門力と実践力を兼ね備えた教員を養成することを目的としています。この観点から「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 将来、教員になるための素養と、入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 自立した個人として、または多様な人々と協働して、地域社会における教育に参画していこうとする行動力
- 教育者を目指して知的・人格的に成長していこうとする意欲

また、教育学部の各課程・専攻は、それぞれ次のような学生を求めます。

【学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻】

- 小・中学校等の教員として必要な専門力・実践力を身に付けるために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- 将来、小・中学校等の教員として、学校教育に貢献したいという強い意志と、明確な目標を持っている人

【学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻】

- 障害等の特別な教育的ニーズを教育、心理、病理などの多方面から理解し支援するために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- 将来、特別支援学校等の教員として、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の自立に向けた活動に関わることを強く希望する人

【養護教諭養成課程】

- 養護教諭として必要な専門力・実践力を身に付けるために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- 子どもの健康に高い関心を持ち、将来、養護教諭として学校教育に貢献するという強い意志を持つ人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 高等学校で履修する教科・科目の基礎的理解だけでなく、取得する教員免許に則した深い学び、課題の把握とその解決に向けたプロセスをわかりやすく表現や説明できる力を習得しておくことが必要です。
- 将来、教員として同僚や児童・生徒、保護者とのコミュニケーションを円滑に育めるように、課外活動やボランティア活動など、多様な人々と積極的に関わっていく主体的な経験が望まれます。
- 日頃から社会情勢や教育問題に対して関心を持ち、困難な問題にも安易にあきらめることなく乗り越えるための努力を惜しまない姿勢と、自己を高める継続的な向上心を身に付けておくことが必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

教育学部では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	小学校コース，中学校コース（音楽専修・美術専修・保健体育専修・技術専修を除く），特別支援教育専攻，養護教諭養成課程	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価すると共に，教員としての適性・資質・能力，教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。	○		
	共通テスト				
	個別学力検査				
	個人面接				
一般選抜 (後期)	小学校コース，特別支援教育専攻	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価すると共に，教員としての適性・資質・能力，教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。	○		
	共通テスト				
	個人面接				
総合型選抜Ⅰ	中学校コース（音楽専修・美術専修・保健体育専修・技術専修）	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで，本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めるのに必要な，音楽・美術・保健体育・技術の教員としての基礎的な学力（技能及び知識）と資質・適性，教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。	○		○
	個人面接				
	実技試験				
	特別支援教育専攻	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで，本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めるのに必要な，特別支援学校等の教員としての資質・適性，教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。			○
	個人面接				
	集団討論				
	志望理由書				
総合型選抜Ⅱ	小学校コース，養護教諭養成課程	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで，本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めるのに必要な，教員としての適性・資質・能力，教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価すると共に，高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。			○
	共通テスト				
	個人面接				
	集団討論				
	志望理由書				

注) 個人面接では，調査書を参考資料とします。

注) 総合型選抜Ⅰの保健体育専修では，運動歴調査書を評価して実技の得点に含め，また，個人面接では，運動歴調査書を参考資料とします。

【別表2】 選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
個人面接	一般・前期	<p>質疑応答等を通して、①自己表現能力、②教職への目的意識、③教員としての適性・資質・能力、④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し「行動力」と「意欲」を評価します。</p> <p>総合Ⅰの美術専修及び保健体育専修においては、それぞれ美術と保健体育に関する知識を問う口頭試問も行い、「学力」も評価します。総合Ⅰの技術専修においては、実技試験で作成した成果発表と、その内容についての質疑応答も行い、技術に関する「学力」も評価します。</p>
	一般・後期	
	総合Ⅰ	
	総合Ⅱ	
集団討論	総合Ⅰ	<p>【小学校コース，特別支援教育専攻，養護教諭養成課程】</p> <p>与えられたテーマについてグループで討論を行います。</p> <p>討論を通して、①話し方・聞き方等のコミュニケーション能力、②発言内容、③教員としての適性等を把握し「学力」「行動力」「意欲」を評価します。</p>
	総合Ⅱ	
実技試験	総合Ⅰ	<p>【中学校コース（音楽専修・美術専修・保健体育専修・技術専修）】</p> <p>事前に提示した課題または基礎運動能力テストについて実技試験を行います。</p> <p>基本的な能力・技術等を把握し、音楽・美術・保健体育・技術の教員として必要な「学力」（技能・運動能力）を評価します。</p> <p>音楽専修においては、演奏楽曲に関する知識等に関する口頭試問も含みます。</p> <p>保健体育専修においては、運動歴調査書により得意とするスポーツ競技の成績や、活動状況等の運動歴を通して、保健体育教員として必要な資質・適性である「学力」（専門的なスポーツ能力）を評価して、実技の得点に含めます。</p>
志望理由書	総合Ⅰ	<p>【小学校コース，特別支援教育専攻，養護教諭養成課程】</p> <p>志望理由や活動実績等の内容から、①自己表現能力、②教職への目的意識、③教員としての適性・資質・能力、④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し、主に「意欲」を評価します。</p>
	総合Ⅱ	

医学部医学科

1) 医学部医学科が求める学生像

医学部医学科では、豊かな人間性と高度の医学知識に富み、広い視野と柔軟な思考力をもって社会的役割を的確に果たすことができる医師及び医学研究者の養成を目的としています。

そのような人材の養成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 医学教育を受けるに十分な素養で、入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 他人を思いやるやさしさと社会性を持ちながら、高度で先端的な医療を地域社会と連携しながら実践してゆく行動力
- 生涯にわたり医師として医療・医学に貢献したいという明確な目的を持ち、何事にも前向きに取り組む、知的・人格的に成長していこうとする意欲

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 医学を修めるために、理系科目だけでなく、英語や文系科目もしっかりと履修し、応用力を伴った総合的学力を身に付けておく必要があります。
- 将来、様々な医療職と連携し、多様なニーズに対応できる医療を実践するためには、コミュニケーション能力と協調性を身に付けておく必要があります。
- 医学・医療を取り巻く社会問題や地域の動向に関心を持ち、自ら積極的に学ぶ姿勢を身に付けておく必要があります。

3) 入学者選抜の基本方針

医学部医学科では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の成果を幅広く応用・展開し、様々な課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	○		
	個別学力検査				
	個人面接				
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	本学科のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価する観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。		○	○
	個人面接				
	ケーススタディの 自学自習				
学士編入学 (第2年次)	個人面接	修業年限4年以上の大学卒業レベルの学習の達成度及び様々な課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	○	○	
	TOEFL				
	学力検査(基礎自 然科学・数学)				

注) 一般選抜(前期)及び総合型選抜Ⅱの個人面接では、調査書及び志望理由書を参考資料とします。

注) 学士編入学(第2年次)の面接では、志望理由書を参考資料とします。

【別表2】選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
個人面接	一般・前期	事前に提出される「志望理由書」を資料に用いて、志望理由、医療に対する関心、卒業後の進路等について、質疑応答を行うことにより、「行動力」、「意欲」を評価します。
	総合Ⅱ	
	学士編入学	
ケーススタディ の自学自習	総合Ⅱ	与えられたシナリオ及び資料を読み、自身の考えを論述させる。読解力、日本語の文章力、論理的な表現力を通して、「学力」を評価します。
TOEFL	学士編入学	英語について、修業年限4年以上の大学卒業レベルの「学力」を評価します。
学力検査 (基礎自然科学・ 数学)	学士編入学	物理・化学・生物・数学の筆記試験を通して、修業年限4年以上の大学卒業レベルの「学力」を評価します。

医学部保健学科

1) 医学部保健学科が求める学生像

医学部保健学科では、保健医療の高度な知識及び技術を習得し、豊かな人間性と問題解決能力を備え、創造性、独創性と国際的視野を有し、社会で活躍できる人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 保健医療専門職となるための学修に必要な基礎的学力
- 将来、他の医療職者と協調しながら保健医療活動を実践するための行動力
- 向上心と研究心を基に、保健医療の実践者として社会に貢献する強い意欲

また、医学部保健学科の各専攻は、それぞれ次のような学生を求めます。

【看護学専攻】

- 人間や生命、健康に関心を持ち、看護専門職者として知的・人格的に成長しようとする意欲のある人
- 人間の尊厳を重んじ、人や社会、文化の多様性を認め、人と良好な関係を築くことができる人

【放射線技術科学専攻】

- チーム医療の一員として積極的にコミュニケーションを図り、他の医療技術者と互いに協力し合い、より良い医療を提供するための行動力のある人
- 医療を安全に行う能力を有し、生涯にわたり向上心・探究心を持ち続け、知的・人格的に成長しようとする意欲のある人

【検査技術科学専攻】

- 医療従事者としての自覚とチーム医療遂行のための協調性を持ち、鋭い観察力と洞察力ならびに応用力を備えて保健医療の発展のために積極的に行動できる人
- 自然科学、保健医療、臨床検査に強い関心を持ち、検査職を通して人々の健康維持・増進に積極的に取り組む意欲のある人

【理学療法学専攻】

- 他者と適切な関係を築きながら、様々な人たちと協働して、障害者等が抱える問題の解決に取り組む行動力を有する人
- 理学療法士として向上心・研究心を持って保健医療に取り組み、障害者等のリハビリテーションに貢献したいという強い意欲のある人

【作業療法学専攻】

- 作業療法の対象者の個別の価値観や生活を尊重し、対象者の希望に沿った作業活動を考えつつ実践するための行動力のある人
- チーム医療の一員として、他職種を尊重しながら、作業療法を積極的に実行する意欲のある人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 医療従事者は、高度な知識や技術が求められますので、高等学校においては履修するすべての教科についての幅広い知識が必要とされます。
- チーム医療の一員として医療に関わることも多いため、課外活動やボランティア活動も含めて積極的な取り組みを行う行動力を持っていることが望まれます。
- 研究心や探求心などに基づき、様々なことに関わる意欲や他者への思いやりを持つことが必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

医学部保健学科では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するとともに、医療従事者としての資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	○		
	個別学力検査				
	小論文(該当する専攻のみ)				
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	本学科のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための基礎的学力、資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	○	○	○
	小論文				
	個人面接				
	調査書				
	志望理由書				
編入学入試 (第3年次)	小論文	専門教育についての学習に強い意欲と行動力を評価するという観点から、「学力」については、学力検査と小論文、「意欲」、「行動力」については個人面接で評価し、総合評価して選抜します。	○	○	○
	個人面接				
	学力検査				

注) 編入学試験の個人面接では、志望理由書を基礎資料とします。

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
小論文	一般・前期	日本の保健医療が現代社会で直面している課題等をテーマに自身の考えを記述させます。 日本語の文章力、論理的な表現力の観点から「学力」を評価します。また、様々な課題を多面的に把握し解決するための資質・能力の観点から「意欲」、「行動力」も評価します。
	総合Ⅱ	日本の保健医療が現代社会で直面している課題等をテーマに自身の考えを記述させます。 日本語の文章力、論理的な表現力の観点から「学力」を評価します。
	編入学	
個人面接	総合Ⅱ	自己PR、志望理由、入学後の学習計画と大学卒業後の進路、高等学校での学習や課外活動等について質疑応答を行います。 志望理由、専門分野に関する興味関心についての質疑応答の内容から「意欲」、課外活動・ボランティア活動についての質疑応答の内容から「行動力」を評価します。
	編入学	
調査書	総合Ⅱ	高等学校での科目の履修状況、教科外活動の状況、ボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動、各種の資格・免許取得などにより、主に「行動力」を評価します。
志望理由書	総合Ⅱ	志望理由、入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について、これまでの勉強や様々な活動を通して得た経験を基に自分の考えを記入させます。 本学科に対する理解や、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などにより、「意欲」を評価します。
学力検査	編入学	英語の基礎学力を問う問題に解答させます。 英文和訳においては英語の文章の読解力と日本語の表現力を評価します。

医学部心理支援科学科

1) 医学部心理支援科学科が求める学生像

医学部心理支援科学科では、科学的思考力を有し、こころの問題を感受し、その問題を解決できる能力や生命に対する高い倫理性と豊かな人間性を有し、悩める人に寄り添い、心理支援職としての役割を通して地域住民の健康と福祉に寄与し、社会に貢献する地域のリーダーとなる人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 心理支援職としての知識と技術を修得するのに必要な基礎学力
- 他職種と連携しチームの一員として心理支援活動を実践するための行動力
- 社会問題や地域の動向に関心をもち、心理支援職として社会に貢献する強い意欲

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 心理支援職は、高度な知識や技術が求められますので、高等学校においては履修するすべての教科についての幅広い知識が必要とされます。
- 他職種と連携しチームの一員として心理支援業務に関わることも多いため、課外活動やボランティア活動も含めて積極的な取り組みを行う行動力を持っていることが望まれます。
- 幅広い研究心や探求心などに基づき、社会問題や地域の動向に関心をもち、自ら積極的に関わる意欲や他者への思いやりを持つことが必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

医学部心理支援科学科では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から、知識・理解力・思考力・判断力・表現力について、共通テストと個別学力検査により評価します。また、「意欲」、「行動力」については、志望理由書により評価します。これらの結果を総合評価して選抜します。	○		
	個別学力検査				
	志望理由書				

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
志望理由書	一般・前期	志望理由、入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について、これまでの勉強や様々な活動を通して得た経験を基に自分の考えを記入させます。 本学科に対する理解や、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などにより、「行動力」及び「意欲」を評価します。

理 工 学 部

1) 理工学部が求める学生像

理工学部では、変化する現代社会に対応できる幅広い視野と科学・技術の発展に貢献できる力を養うカリキュラムを提供することによって、自然の仕組みを探究する力、先端技術社会を支える科学を進展させ技術を創造する力、変化する現代社会が直面する課題を発見・分析・解決する力を養い、地域や国際社会に貢献する人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 専門教育の基礎となる理数系の学力、及び社会の中で専門的能力を活かすための基礎学力
- 高等学校までに学習すべき課題に真摯に取り組むとともに、自らの個性や資質に合わせてその他の活動にも積極的に参加し、自らを成長させていく行動力
- 専門を生かして新たな課題を見いだし、解決するために学び続ける意欲

また、理工学部の各学科は、それぞれ次のような学生を求めます。

【数物科学科】

(数学型)

- 数理科学への強い興味を持ち、数理科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 探究心が旺盛で豊かな数学的知識と自在な数理的応用力をもって社会に貢献する意欲のある人

(物理型)

- 自然の基本原理に興味を持ち、物理学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 物質を構成しその性質を決定している量子の世界から広大な宇宙の世界までを支配している自然の基本原理を理解し、より深く探求することやその成果を社会へ還元することに意欲のある人

【物質創成化学科】

- 化学物質の構造や化学反応の仕組みを物質の機能と結びつけて探求することに興味を持ち、化学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 自ら課題を見いだし、暮らしを豊かにする機能性物質や環境調和を指向した機能性材料を創成し、リサイクル、省資源、エネルギー創成技術等に関する諸課題を解決するための研究開発に意欲のある人

【地球環境防災学科】

- 宇宙空間、大気・水圏、地質・岩石、地震・火山等を対象とした地球科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲を持つ人
- 自ら課題を見いだし、地球に関する科学の深化や、地球環境問題の解決、自然災害の防止に貢献することに意欲のある人

【電子情報工学科】

- 電子回路、電子材料、コンピュータとソフトウェア、通信ネットワーク、セキュリティ、組込みシステムなどの電子情報工学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 電子情報工学の発展に強い関心を持ち、学んだことの成果を社会の様々な分野で活用することに意欲のある人

【機械科学科】

- 医用・福祉，環境・エネルギー，航空宇宙，輸送機械，ロボット，AI，ナノテクノロジーなどの機械科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- ものづくりに関する科学技術の発展に強い関心を持ち，失敗を恐れず継続してものごとに取り組む，学んだことの成果を社会の様々な領域で活用することに意欲のある人

【自然エネルギー学科】

- 自然や人間社会に深い興味を持ち，自然エネルギーに関する多様な分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 地域に存在する自然エネルギー源を利用することや，その活用に意欲のある人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 理工学分野の学問を学ぶために必要な力として，論理的思考力，自然科学に関する基礎知識，表現やコミュニケーションの能力を身に付けておくことが必要です。
- 自ら課題を探求し，主体的に取り組む学習態度，新しい発見や創造的な活動に取り組むための行動力が必要です。また，他者と協働して学習や研究などに取り組むことができる行動力や学習態度が必要です。
- 困難な課題に対しても安易にあきらめることなく取り組み，やり遂げようとする意欲を持ち続けることが必要です。また，自然界の仕組みや社会を支える技術について日頃から興味を持ち，学習に自発的に取り組む態度が必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

理工学部では，前記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために，多面的・総合的な評価方法により，別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○		
	個別学力検査				
一般選抜 (後期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○		
	個別学力検査				
総合型選抜Ⅰ	講義の実施とその内容に関するレポート	本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の選抜方法により総合評価して選抜します。	○	○	○
	個人面接				
編入学入試 (第3年次) 推薦	個人面接	本学部のカリキュラムに基づく専門科目の学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の選抜方法により総合評価して選抜します。 なお、個人面接においては、基礎学力に関する試問を含みません。	○	○	○
	調査書				
	志望理由書				
	推薦書				
編入学入試 (第3年次) 一般	個人面接	本学部のカリキュラムに基づく専門科目の学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の選抜方法により総合評価して選抜します。	○	○	○
	調査書又は成績証明書				
	志望理由書				

注) 総合型選抜Ⅰの個人面接では、調査書及び志望理由書を参考資料とします。

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
講義の実施とその内容に関するレポート	総合Ⅰ	学部において実施する講義に、能動的に対応するために必要な「学力」及び「行動力」を評価します。
個人面接	総合Ⅰ	志望動機、入学後の履修計画、卒業後の見通しなどに関する総合的な質疑により、「意欲」及び「行動力」を評価します。 また、総合型選抜Ⅰ及び編入学入試一般では、基礎学力に関する試問において、学部のカリキュラムに基づく学習を進めるために必要な「学力」を評価します。 なお、編入学入試推薦においては、基礎学力に関する試問を含みません。
	編入学	
調査書又は成績証明書	編入学	これまでの学習に対する取組状況から、「行動力」の評価を行います。また、3年次以降の履修に対応する「学力」についても評価します。
志望理由書	編入学	志望理由と理工学部のアドミッション・ポリシーとの整合性から、「意欲」に関する評価を行います。
推薦書	編入学	これまでの学習に対する取組や学習意欲に関する客観評価から、「意欲」及び「行動力」の評価を行います。

農学生命科学部

1) 農学生命科学部が求める学生像

農学生命科学部では、農学と生命科学分野の基礎的・専門的な知識を身につけ、課題探求・問題解決能力を備えた専門技術者・研究者として活躍でき、創造性と主体性をもって地域はもとより国際的にも活躍できる人材を育成することを目的としています。この目的のため、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 入学後に修める教養教育や、農学及び生命科学の各分野の専門教育に必要な基礎学力（高等学校の教科全般、特に理科、英語、数学）
- 農学及び生命科学を通して国際社会や地域社会に参画しようとする行動力
- 農学と生命科学に興味を持ち、これらの基礎的・専門的な知識を継続的に学びたいとする意欲

また、農学生命科学部の各学科は、それぞれ次のような学生を求めます。

【生物学科】

- 生物学の遺伝子レベルから生態系レベルにわたる様々な基礎的知識や応用的知識を、実社会への参画をみすえ、積極的に身に付けようとする行動力を持つ人
- 生物学に強い興味を持ち、動植物の生命現象の解析を通じて、生物の基礎的現象の仕組みや生物が持つ多様性、適応戦略、進化のメカニズムの解明に意欲のある人

【分子生命科学科】

- 分子レベルでの生命現象の理解や知識を活用した産業（例えば、医薬品、食品、化学工業など）及び学問分野で活躍しようとする行動力を持つ人
- 生命現象の仕組みや機能に興味を持ち、高校で学習した生物や化学の知識を基に分子レベルでこれを理解し、さらに追求する意欲のある人

【食料資源学科】

- バイオテクノロジー、食品科学、作物生産環境について目的意識を持って学ぶことができ、これらの研究を積極的に行うことができる行動力を持つ人
- 学びの中から様々な課題を自ら見だし、解決する力を養い、学修後にそれを食料生産や食品産業に役立てようとする意欲のある人

【国際園芸農学科】

- 地域農業の活性化や国際的な展開に取り組む行動力を持つ人
- 農業生産の技術とその原理を学ぶことに意欲のある人
- 食と農の経済を学ぶことに意欲のある人

【地域環境工学科】

- 自立した農業土木技術者として、社会的責任を自覚し、自主的継続的に学修し、多様な人々と協働し、国内外の地域社会に参画していこうとする行動力を持つ人
- 数学や物理学などの自然科学に関する工学基礎知識を身に付け、水・土・農業土木関連施設や農村・山間地に関わる総合的な工学知識を習得した農業土木技術者を目指し、国内外の地域社会の問題解決や発展に貢献しようとする意欲のある人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 農学及び生命科学の各分野の教育を受けるために必要な基礎学力だけでなく、論理的思考力、読解力、記述能力などの修得が必要です。
- 自分自身の考えを持ち、様々な課題に立ち向かい、解決する行動力を身に付けておくことが必要です。
- 実験室のみならずフィールドでの学習・研究活動を自主的かつ積極的に取り組む意欲が必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

農学生命科学部では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】 入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○		
	個別学力検査				
一般選抜 (後期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○		
	個別学力検査				
総合型選抜Ⅰ	小論文	本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○	○	○
	個人面接				
編入学入試 (第3年次)	個人面接	本学部のカリキュラムに基づく専門科目の学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○	○	○
	編入学願				
	成績証明書				

注) 総合型選抜Ⅰの個人面接では、調査書及び志望理由書を参考資料とします。

【別表2】 入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
小論文	総合Ⅰ	農学や生命科学などに関連するいくつかのテーマについて論述させます。論理的思考力、読解力、記述能力などにより、「学力」を評価します。
個人面接	総合Ⅰ	志望理由、興味・関心がある研究分野、入学前の学習などへの取組状況、将来への展望などに関する総合的な質疑により、「行動力」及び「意欲」の評価を行います。総合型選抜Ⅰでは、調査書と志望理由書をこれらの評価の参考資料として用います。
	編入学	また、総合型選抜Ⅰでは、基礎学力に関する試問において、学部のカリキュラムに基づく学習を進めるために必要な「学力」を評価します。 なお、編入学入試では、試問により、3年次以降の履修に対応するために必要な「学力」を評価します。
編入学願	編入学	本学部に対する理解、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などから、「行動力」及び「意欲」を評価します。
成績証明書	編入学	教養科目や専門科目の成績により、3年次以降の履修に対応する「学力」を評価します。

問合せ先一覧

■弘前大学の問合せ先

内 容	担当部署	連 絡 先
入学試験全般に関すること	学務部入試課	0172-39-3122 (FAX) 0172-39-3125
検定料の支払い及び返還に関すること		
入学手続に関すること		
入学料, 授業料の免除等に関すること	学務部学生課	0172-39-3117 0172-39-3107
奨学金に関すること		
学生寮に関すること		
授業料の口座振替に関すること	財務部財務管理課	0172-39-3043
カリキュラム, 資格取得等に関すること	人文社会科学部	0172-39-3940
注) 右欄の学部の入学試験に関することは, 学務部入試課へお問い合わせください。	教育学部	0172-39-3939
	理工学部	0172-39-3930
	農学生命科学部	0172-39-3752
入学試験に関すること カリキュラム, 資格取得等に関すること	医学部医学科	0172-39-5204 0172-39-5236 (入試)
	医学部保健学科	0172-39-5911
	医学部心理支援科学科	

※平日8:30~17:00 (年末年始を除く。)ただし, 学生課は9:00~17:00

※電話による問合せは, やむを得ない場合を除き, 志願者本人が行ってください。

■インターネット出願サイトに関する問合せ先

「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター (運用会社: 株式会社キャリアス)	0120-202079
--	-------------

■弘前大学生生活協同組合の問合せ先

試験時の宿泊やチケット予約 アパート紹介等に関すること	 弘前大学生生活協同組合 受験生・新入生サポートサイト https://newlife.u-coop.or.jp/hirosaki/
--------------------------------	--



弘前大学公式ホームページ
<https://www.hirosaki-u.ac.jp/>

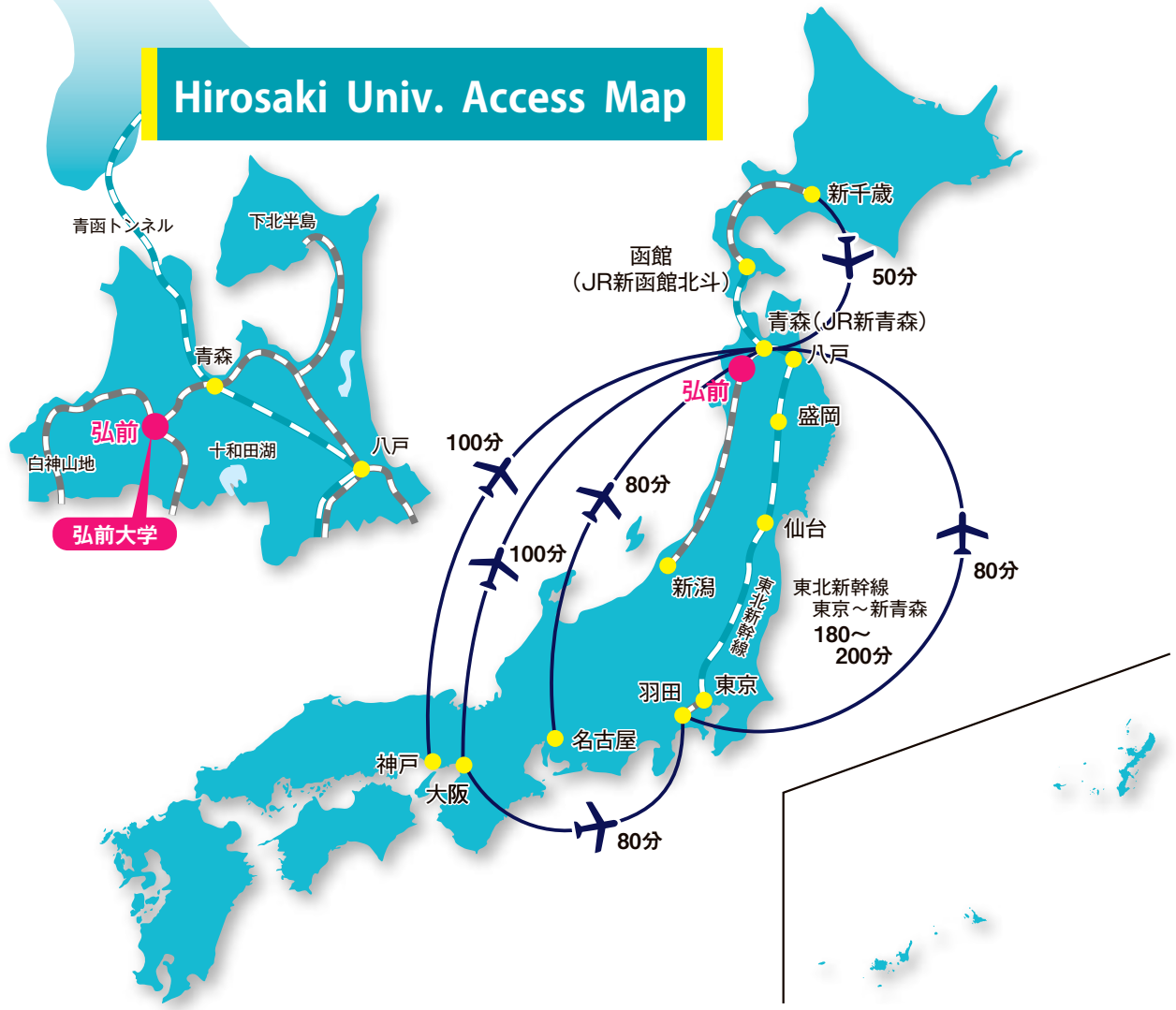


弘前大学入試情報ホームページ
<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>



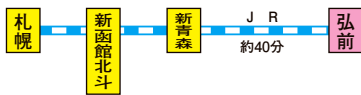
特設サイト (合格者発表, 出願状況, 試験当日の連絡)
<https://sp-nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>

Hirosaki Univ. Access Map

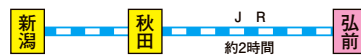


弘前までの交通案内

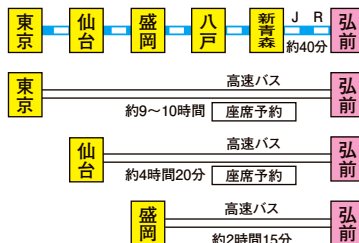
札幌・函館から



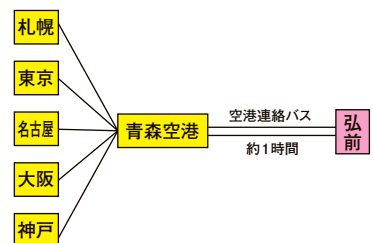
新潟・秋田から



東京・仙台・盛岡・八戸から



空路



ロゴマークのコンセプト

弘前市が全国に誇れる「桜」をモチーフにし、5学部の桜の花が集結し、未来に向けひとつ大きな花を開花させるというイメージを図案化。中央にある丸は地球をイメージしており、弘前大学の卒業生がビジネス&研究において優秀な人材として貢献し、世界を飛びまわるという工夫を加えた表現にもなっています。また、それぞれのカラーは、5学部のカラーを表現しており、(赤)医学部、(橙)教育学部、(緑)農学生命科学部、(紺)理工学部、(紫)人文社会科学部としています。さらに、地球の周りに桜をちりばめているようなイメージは、人工衛星的なイメージにも見え「地域発信の拠点となる弘前大学」という意味もあります。全体の色味としても現代風のカラーフルな色彩にしておき、フレッシュ感と躍動感、そして楽しいキャンパスライフという活気に満ちあふれたマークに仕上がっています。



HIROSAKI
UNIVERSITY